

Changes in maternal consciousness after childbirth and related paternal and family support

宮中, 文子

<https://doi.org/10.15017/458567>

出版情報 : 九州芸術工科大学, 2003, 博士 (芸術工学), 論文博士
バージョン :
権利関係 :

期とする)の回答を初・経産婦別に比較し、3期における回答の変化については、 χ^2 検定を行った。各質問項目の得点化および合計得点の算出は、第Ⅱ部で述べた方法と同様に実施した。

母親意識の合計得点、母親意識に影響する母親側の各要因項目および、父親側の要因項目の合計得点については、初産婦・経産婦と3期(出産後1か月、10か月、18か月)を要因とする二元配置分散分析(two-way ANOVA)を行った。また、事後検定として、Student-Newman-Keuls法によって、post hocテストを行い、有意水準を危険率5%とした。また、出産後3期における母親意識の合計得点を目的変数に、母親意識に影響する要因毎の合計得点、父親意識の合計得点および父親の支援行動毎の合計得点をそれぞれ説明変数とする重回帰分析を行った。

第3章 結果

第1節 母親意識の出産後3期における変化

第1項 母親意識に関する肯定的質問項目の出産後3期における変化

母親意識に関する肯定的質問項目(7項目)に「とてもそう」、および「ややそう」と回答した者の割合を、出産後の時期別と初・経産婦別に示したのが表Ⅲ-3および図Ⅲ-1である。

出産後3期における変化をみると、「子どもは私をじっとみてくれる」、「子育てをしている今は幸せ」、「子どもと遊ぶのは楽しい」、「子育てを自分でやれる自信がついた」の4項目については、初産婦、経産婦および両群を合わせた全体で「子どもと一緒にいるのは嬉しい」については、初産婦と全体で出産後3期に有意な差がみられた。しかし、「子どもはかわいい」と「子どもにとって良い母親だと思う」の2項目については、3期に有意な差が認められなかった。

その回答の全体の割合についての変化をみると、「子どもは私をじっとみてくれる」に「とてもそう」と回答した者は、産後1か月(81.1%)と10か月(85.4%)で多いのに対して、産後18か月(14.6%)で減少し、初産婦および経産

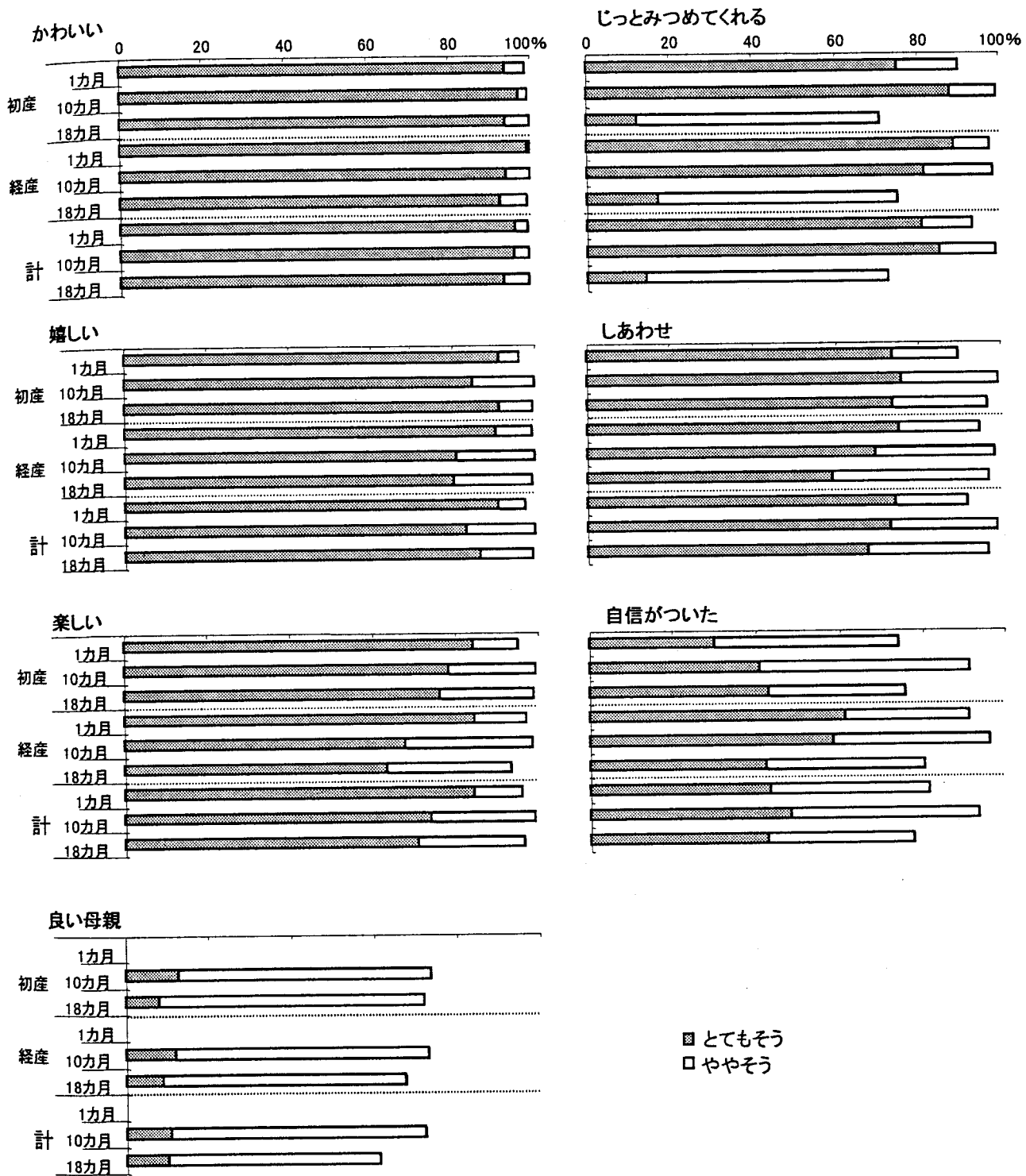
婦とも同様の变化であった。「子どもと一緒にいるのは嬉しい」に「とてもそう」と答えた全体の割合は、産後10か月（83.3%）と18か月（86.7%）に比して、産後1か月（91.0%）でやや多い傾向にあった。経産婦のその割合についてもほぼ同様の变化であった。「子育てしている今は幸せ」に「とてもそう」と回答した者の全体の割合は、産後1か月（74.3%）、10か月（73.1%）、18か月（67.5%）にかけて暫時減少する傾向にあった。この傾向については、初産婦よりも経産婦で顕著であった。「子どもと遊ぶのは楽しい」に「とてもそう」と答えた全体の割合も、産後1か月（84.5%）、10か月（74.0%）、18か月（70.9%）の順に低下する傾向にあった。この低下傾向は、初産婦、経産婦とも同様の傾向にあった。「子育てを自分でやれる自信がついた」に「とてもそう」と「ややそう」と回答した者の全体の割合は、産後10か月が最も高く（93.5%）、ついで産後1か月（81.4%）、最も低いのが18か月（77.7%）であった。

一方、産後の3期全体で、初・経産間で比較すると、「子どもと一緒にいるのは嬉しい」（ $\chi^2=10.55$, $p<0.01$ ）、「子育てしている今は幸せ」（ $\chi^2=8.91$, $p<0.05$ ）、「子どもと遊ぶのは楽しい」（ $\chi^2=12.45$, $p<0.01$ ）、「子育てを自分でやれる自信がついた」（ $\chi^2=31.09$, $p<0.0001$ ）で有意な差が認められた。「子どもと一緒にいるのは嬉しい」の質問項目について「とてもそう」と回答した者の割合は、出産後3期とも経産婦よりも初産婦で高く、3期全体の割合では、経産婦が83.9%に対して初産婦では89.2%であった。「子育てしている今は幸せ」と「子どもと遊ぶのは楽しい」の質問項目に「とてもそう」と回答した者の割合については、経産婦より初産婦で産後10か月と18か月で高く、3期全体の割合についてみると「子育てしている今は幸せ」が初産婦74.4%に対して経産婦67.9%、「子どもと遊ぶのは楽しい」が初産婦79.7%、経産婦72.0%であった。また、「子育てを自分でやれる自信がついた」の質問項目に「とてもそう」と回答した者の割合は、産後1か月と10か月で経産婦（61.3%、58.4%）よりも、初産婦（30.1%、40.9%）で著しく少なく、3期全体でみると、初産婦が38.0%、経産婦54.0%であった。なお、「子どもはかわいい」、「子どもは私をじっとみしてくれる」および「子どもにとって良い母親だと思う」の質問項目には、初・経産で有意な差がみられなかった。

表Ⅲ-3 母親意識(肯定的質問項目)に関する回答(%)の出産後3期における変化

	初産婦			経産婦			初・経産婦計		
	1か月	10か月	18か月	1か月	10か月	18か月	1か月	10か月	18か月
子どもはかわいい									
とてもそう	94.1	97.3	94.1	99.3	94.2	92.7	96.3	96.0	93.5
ややそう	4.8	2.2	5.9	0.7	5.8	6.6	3.1	3.7	6.2
χ^2 検定	N.S.			N.S.			N.S.		
子どもは私をじっとみてる									
とてもそう	75.3	88.2	12.4	89.1	81.8	17.5	81.1	85.4	14.6
ややそう	15.1	11.3	58.6	8.8	16.8	57.7	12.4	13.6	58.2
χ^2 検定	$\chi^2=260.6, p<0.0001$			$\chi^2=187.5, p<0.0001$			$\chi^2=439.0, p<0.0001$		
子どもと一緒にいるのは嬉しい									
とてもそう	91.4	84.9	91.4	90.5	81.0	80.3	91.0	83.3	86.7
ややそう	4.8	15.1	8.1	8.8	19.0	19.0	6.5	16.7	12.7
χ^2 検定	$\chi^2=22.21, p<0.001$			N.S.			$\chi^2=25.81, p<0.0001$		
子育てしている今は幸せ									
とてもそう	73.7	75.8	73.7	75.2	69.3	59.1	74.3	73.1	67.5
ややそう	16.1	23.7	23.1	19.7	29.2	38.0	17.6	26.0	29.4
χ^2 検定	$\chi^2=24.00, p<0.001$			$\chi^2=16.05, p<0.05$			$\chi^2=32.41, p<0.0001$		
子どもと遊ぶのは楽しい									
とてもそう	84.4	78.5	76.3	84.7	67.9	63.5	84.5	74.0	70.9
ややそう	10.8	21.0	22.6	12.4	30.7	29.9	11.5	25.1	25.7
χ^2 検定	$\chi^2=19.94, p<0.01$			$\chi^2=29.81, p<0.0001$			$\chi^2=35.24, p<0.0001$		
子育てを自分でやれる自信がついた									
とてもそう	30.1	40.9	43.0	61.3	58.4	42.3	43.3	48.3	42.7
ややそう	44.1	50.5	32.8	29.9	38.0	38.0	38.1	45.2	35.0
χ^2 検定	$\chi^2=40.00, p<0.0001$			$\chi^2=25.45, p<0.001$			$\chi^2=46.62, p<0.0001$		
子どもにとってよい母親だと思う									
とてもそう		12.9	8.1		10.9	10.2		12.1	9.0
ややそう		60.8	64.0		61.3	51.1		61.0	58.5
χ^2 検定	N.S.			N.S.			N.S.		

第Ⅲ部 出産後の母親意識の変化とそれに影響する父親側の要因—出産後10か月までの初・経産婦別分析—



図Ⅲ-1 母親意識（肯定的質問項目）への回答「とてもそう」「ややそう」の割合

第 2 項 母親意識に関する否定的質問項目の出産後 3 期における変化

同様に、母親意識を構成する 8 つの否定的質問項目に対して「とてもそう」と「ややそう」と回答した者の割合を、出産後 3 期および初産婦、経産婦別に示したのが表Ⅲ-4 および図Ⅲ-2 である。

出産後 3 期と有意な関連性が認められたのは、「子どもを叱るあまり思わず手をあげる」を除いた他の 7 つの質問項目においてであった ($p < 0.0001$)。その項目に「とてもそう」と「ややそう」と回答した者の割合が多い質問項目としては「子育てから解放されたい」、「子育てでイライラすることがある」、「子育ては疲れる」、「子育てで悩みや心配ごとがある」、「子育てが負担である」などであった。初産と経産を合わせた全体で見ると、「子育てから解放されたい」と「子育てでイライラすることがある」について「とてもそう」「そう」と回答した者の割合は、出産後 10 か月が最も高く (35.9%と 45.5%)、次いで 18 か月 (2.8%と 33.7%)、1 か月 (8.7%と 27.2%) の順に低下した。この 2 つの質問項目については、初産婦および経産婦とも上記と同様の傾向を示したが、とくに「子育てでイライラすることがある」に「とてもそう」、「ややそう」と回答した者の割合については、1 か月や 18 か月に比して、10 か月で初・経産婦とも顕著に高かった。「疲れる」および「子育てが負担」に関して「とてもそう」、「ややそう」と回答した割合は、初・経産婦とも産後 10 か月よりも 18 か月で低下していたが、前者の低下の程度は顕著であった。「人並みに子育てできないと感じる」について「とてもそう」、「ややそう」と回答した割合は、出産後 3 期とも少ないとは言え、10 か月で最も高く (26.3%)、ついで 18 か月 (19.2%)、最も少なかったのは産後 1 か月 (7.7%) であり、この傾向は初・経産とも類似していた。

一方、産後の 3 期全体で、初・経産婦間で比較すると、「子育てが負担である」と「人並みに子育てできないと感じる」を除いた他の全ての質問項目において初・経産間に有意な差が認められた。「子育てから解放されたい」と「子育てでイライラすることがある」について「とてもそう」と回答した者の割合は、出産後 3 期とも初産婦より経産婦で多く、その 3 期全体の割合は初産婦がそれぞれ 29.4%と 13.8%、経産婦が 37.7%と 18.5%であった。「子育ては疲れる」と「子どもを叱るあまり思わず手をあげる」と回答した者の割合も、出産後 10 か月、18 か月とも初産婦より経産婦で多く、その割合は初

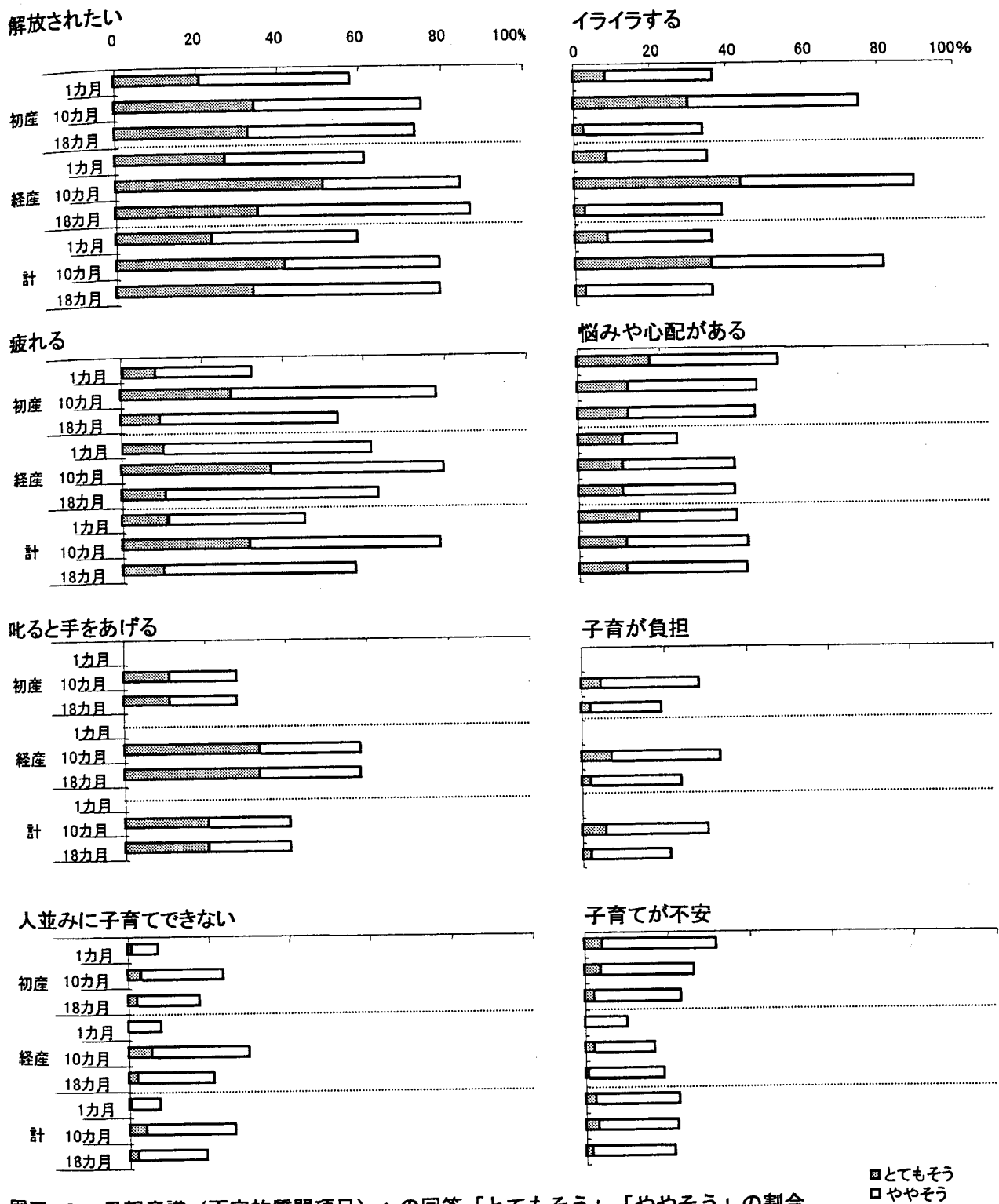
産婦でそれぞれ18.5%と11.3%，経産婦で24.1%と33.6%であった。一方、「子育てで悩みや心配がある」と「子育てが不安でしかたがない」について「とてもそう」、「ややそう」と回答した者の割合は、いずれも経産婦より初産婦で多く、その3期全体の割合は初産婦でそれぞれ45.2%と27.1%，経産婦で33.3%と15.3%であった。

第3項 母親意識の合計得点の出産後3期における変化

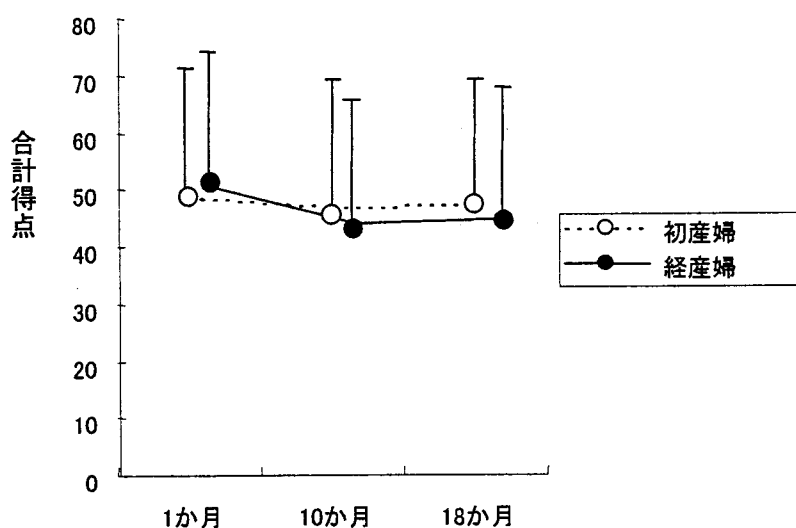
母親意識に関する15項目の合計得点の平均と標準偏差を、初・経産婦別および産後の時期別に分けて示したのが、表Ⅲ-5および図Ⅲ-4である。母親意識の合計得点についての2元配置の分散分析の結果、出産後の3つの時期 ($F=95.32$, $df=2, 642$, $p<0.0001$) と交互作用 ($F=36.96$, $df=2, 642$, $p<0.0001$) に有意な効果が認められた。Post hoc テストの結果、初産婦の母親意識における合計得点の平均は産後1か月目に比して産後10か月目に、また経産婦では産後1か月目に比して10か月目と18か月目にいずれも有意に低下していた。また、産後1か月目の母親意識における合計得点の平均は、初産婦は経産婦より低く ($p<0.05$)、産後10か月目と18か月目にあつては、逆に経産婦より初産婦の平均が高く ($p<0.05$)、いずれも有意差が認められた。

表Ⅲ-4 母親意識(否定的質問項目)に関する回答(%)の出産後3期における変化

	初産婦			経産婦			初・経産婦計		
	1か月	10か月	18か月	1か月	10か月	18か月	1か月	10か月	18か月
子育てから解放されたいと思う									
とてもそう	21.0	34.4	32.8	27.0	51.1	35.0	23.5	41.5	33.7
ややそう	37.1	40.9	40.9	34.3	33.6	51.8	35.9	37.8	45.5
χ^2 検定	$\chi^2=59.3, p<0.0001$			$\chi^2=60.0, p<0.0001$			$\chi^2=109.01, p<0.0001$		
子育てでイライラすることがある									
とてもそう	8.6	30.1	2.7	8.8	43.8	2.9	8.7	35.9	2.8
ややそう	28.0	45.2	31.2	26.3	46.0	35.8	27.2	45.5	33.1
χ^2 検定	$\chi^2=184.20, p<0.0001$			$\chi^2=222.99, p<0.0001$			$\chi^2=393.63, p<0.0001$		
子育てでは疲れる									
とてもそう	8.0	27.4	9.7	9.8	37.2	10.9	8.9	31.6	10.2
ややそう	25.0	50.5	44.1	44.6	42.3	52.6	34.8	47.1	47.7
χ^2 検定	$\chi^2=32.69, p<0.0001$			$\chi^2=30.44, p<0.0001$			$\chi^2=59.14, p<0.0001$		
子どもを叱るあまり手をあげることがある									
とてもそう		11.3	11.3		33.6	33.6		20.7	20.7
ややそう		16.7	16.7		24.8	24.8		20.1	20.1
χ^2 検定	N.S.			N.S.			N.S.		
子育てで悩みや心配がある									
とてもそう	17.7	12.4	12.4	10.9	10.9	10.9	14.9	11.8	11.8
ややそう	31.2	31.2	30.6	13.1	27.0	27.0	23.5	29.4	29.1
χ^2 検定	$\chi^2=102.14, p<0.0001$			$\chi^2=132.43, p<0.0001$			$\chi^2=223.96, p<0.0001$		
子育てが負担である									
とてもそう		4.8	2.2		7.3	2.2		5.9	2.2
ややそう		23.7	17.2		26.3	21.9		24.8	19.2
χ^2 検定	$\chi^2=437.11, p<0.0001$			$\chi^2=335.43, p<0.0001$			$\chi^2=767.76, p<0.0001$		
人並みに子育てできないと感じる									
とてもそう	1.1	3.2	2.2	0	5.8	2.2	0.6	4.3	2.2
ややそう	6.5	20.4	15.6	8.0	24.1	19.0	7.1	22.0	17.0
χ^2 検定	$\chi^2=199.67, p<0.0001$			$\chi^2=218.16, p<0.0001$			$\chi^2=412.81, p<0.0001$		
子育てが不安でしかたがない									
とてもそう	4.3	3.8	2.2	0	2.2	0.7	2.5	3.1	1.5
ややそう	27.4	22.6	21.0	10.2	14.6	18.2	20.1	19.2	19.8
χ^2 検定	$\chi^2=137.90, p<0.0001$			$\chi^2=210.00, p<0.0001$			$\chi^2=334.78, p<0.0001$		



図Ⅲ-2 母親意識（否定的質問項目）への回答「とてもそう」「ややそう」の割合



図Ⅲ-4 母親意識の合計得点（平均と標準偏差）

表Ⅲ-5 母親意識の合計得点の初・経産婦間の比較と二元配置分散分析の結果

	1か月 Mean (SD)	10か月 Mean (SD)	18か月 Mean (SD)	ANOVA		
				初・経産	時期	交互作用
初産婦	48.5 (5.8)	46.8 (6.8)	47.3 (7.3)	N.S.	F=95.32, df=2, 642, p<0.0001	F=36.96, df=2, 642, p<0.0001
経産婦	51.6 (4.8)	44.8 (5.9)	45.7 (6.9)			

N.S. : not significant

第2節 母親の非抑鬱傾向の出産後3期における変化

第1項 非抑鬱傾向に関する各項目の出産後3期の変化

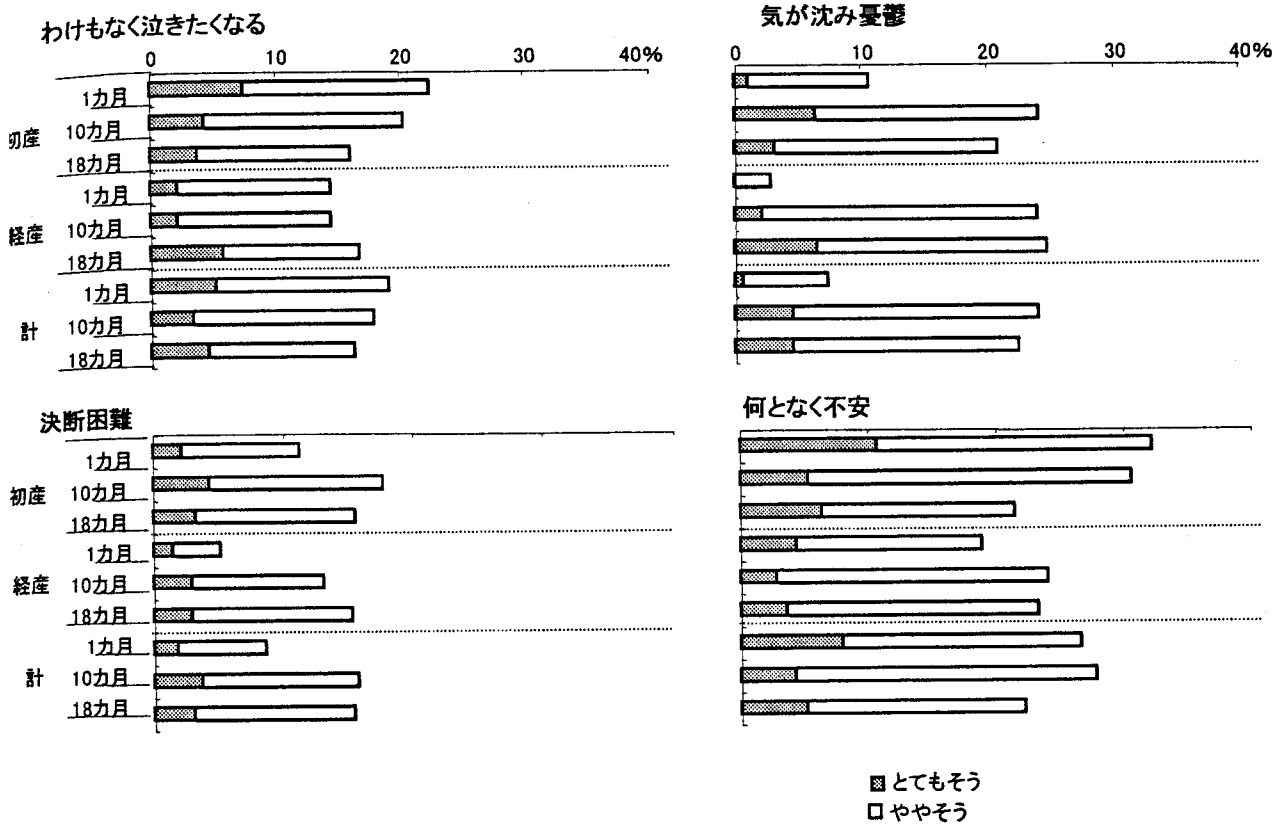
母親の抑鬱傾向に関する回答の各選択肢の回答割合を、出産後3期および初産婦、経産婦別に示したのが表Ⅲ-6および図Ⅲ-4である。

出産後3期と有意な関連性が認められたのは、初産婦では「わけもなく泣いたり泣きたくなったりする」($p < 0.0001$)、「気が沈み憂鬱な気持ちになる」($p < 0.0001$) および「何となく不安な気持ちになる」($p < 0.0001$)であった。経産婦については、「気が沈み憂鬱な気持ちになる」($p < 0.001$)の1項目についてのみ有意な関連性が認められた。「気分がすっきりせず、何事も決断できない感じがする」には初・経産婦および全体で有意な関連性は認められなかった。すなわち、「わけもなく泣いたり泣きたくなったりする」の質問項目に対し「とてもそう」と「ややそう」と回答した者の割合は、初産婦および全体では、産後1か月、10か月、18か月の順に減少していたが、経産婦では3期で殆ど変化がみられなかった。それらに回答した割合を全集団で見ると、1か月が19.2%、10か月が18.0%、18か月が16.4%であった。「気が沈み憂鬱な気持ちになる」に対して「とてもそう」と「ややそう」と回答した者の割合は、初産婦、経産婦および全体とも、産後10か月と18か月に比して産後1か月でいずれも低く、その割合は全集団では、産後1か月が7.4%、10か月が24.1%、18か月が22.6%であった。「何となく不安な気持ちになる」については、初産婦では、産後1か月と10か月に比して18か月に、その割合が低下していたが、経産婦では3期に殆ど変化がみられなかった。

表Ⅲ-6 抑鬱傾向に関する回答(%)の出産後3期における変化

	初産婦			経産婦			初・経産婦計		
	1か月	10か月	18か月	1か月	10か月	18か月	1か月	10か月	18か月
わけもなく泣いたり泣きなくなったりする									
とてもそう	7.5	4.3	3.8	2.2	2.2	5.8	5.3	3.4	4.6
ややそう	15.1	16.1	12.4	12.4	12.4	10.9	13.9	14.6	11.8
ややいいえ	29.6	11.8	12.4	26.3	18.2	27.0	28.2	14.6	18.6
いいえ	47.8	67.7	71.5	59.1	67.2	56.2	52.6	67.5	65.0
χ^2 検定	$\chi^2=34.71, p<0.0001$			N.S.			$\chi^2=24.45, p<0.001$		
気が沈み憂鬱な気持ちになる									
とてもそう	0	2.2	6.6	1.1	6.5	3.2	0.6	4.6	4.6
ややそう	2.9	21.9	18.2	9.7	17.7	17.7	6.8	19.5	18.0
ややいいえ	28.5	24.1	19.7	26.3	12.9	12.4	27.2	17.6	15.5
いいえ	68.6	51.8	55.5	62.9	62.9	66.7	65.3	58.2	61.9
χ^2 検定	$\chi^2=35.68, p<0.0001$			$\chi^2=26.79, p<0.001$			$\chi^2=45.47, p<0.0001$		
気分がすっきりせず、何事も決断できない感じがする									
とてもそう	2.2	4.3	3.2	1.5	2.9	2.9	1.9	3.7	3.1
ややそう	9.1	13.4	12.4	3.7	10.2	12.4	6.8	12.1	12.4
ややいいえ	20.4	12.4	12.4	24.8	27.7	25.5	22.3	18.9	18.0
いいえ	68.3	69.9	72.0	70.1	59.1	59.1	69.0	65.3	66.6
χ^2 検定	N.S.			N.S.			N.S.		
何となく不安な気持ちになる									
とてもそう	10.8	5.4	6.5	4.4	2.9	3.7	8.1	4.3	5.3
ややそう	21.5	25.3	15.1	14.6	21.2	19.7	18.6	23.5	17.0
ややいいえ	34.4	19.9	18.3	33.6	25.5	22.6	34.1	22.3	20.1
いいえ	33.3	49.5	60.2	47.4	50.4	54.0	39.3	49.8	57.6
χ^2 検定	$\chi^2=35.24, p<0.0001$			N.S.			$\chi^2=33.23, p<0.0001$		

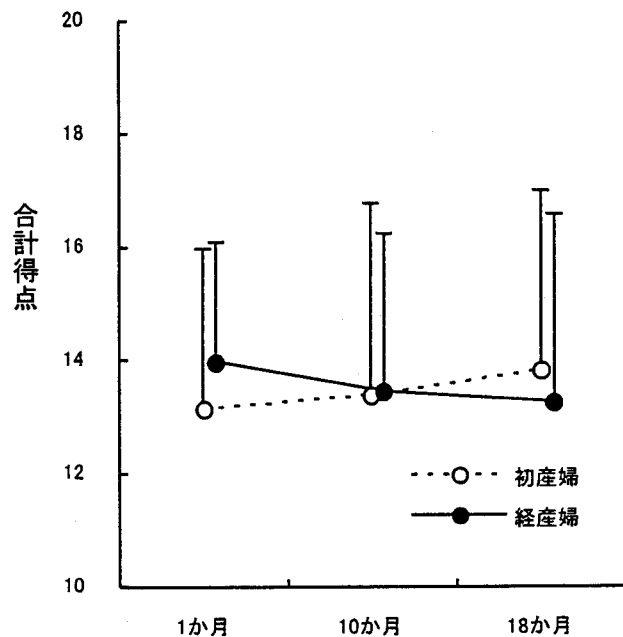
第三部 出産後の母親意識の変化とそれに影響する父親側の要因—出産後10か月までの初・経産婦別分析—



図Ⅲ-4 抑鬱傾向に関する質問項目への回答「とてもそう」「ややそう」の割合

第2項 非抑鬱傾向の合計得点の出産後3期における変化

4項目の非抑鬱に関する合計得点の平均と標準偏差を産後の時期別および初・経産婦別に示したのが、表Ⅲ-7と図Ⅲ-5である。非抑鬱傾向の合計得点についての2元配置分散分析の結果、時期と初・経産による交互作用のみ有意な効果が認められた ($F=9.92, df=2, 642, p<0.0001$)。産後1か月の非抑鬱傾向の合計得点の平均は、経産婦よりも初産婦で有意に低かった ($p<0.05$) が、産後10か月および18か月では両者に有意な差がみられなかった。



図Ⅲ-5 非抑鬱の合計得点 (平均と標準偏差)

表Ⅲ-7 非抑鬱の合計得点の初・経産婦間の比較と二元配置分散分析の結果

	1か月 Mean (SD)	10か月 Mean (SD)	18か月 Mean (SD)	ANOVA		
				初・経産	時期	交互作用
初産婦	13.1 (2.8)	13.4 (3.4)	13.8 (3.2)	N.S.	N.S.	$F=9.92, df=2, 642, p<0.0001$
経産婦	14.2 (2.1)	13.4 (2.8)	13.2 (3.3)			

N.S. : not significant

第3節 母親の自己価値観の出産後3期における変化

第1項 自己価値観に関する各項目の出産後3期の変化

母親の自己価値観に関する各選択肢の回答割合を、出産後3期および初産婦、経産婦別に示したのが表Ⅲ-8と表Ⅲ-9および図Ⅲ-6と図Ⅲ-7である。

自己価値観における肯定的質問項目についてみたのが、表Ⅲ-8と図Ⅲ-6であるが、初・経産婦全体でみると、「私は自分にはいくつかみどころがあると思っている」($p < 0.05$)と「私はたいていの方がやれる程度には物事ができる」($p < 0.05$)のみ産後の時期に有意な関連性が認められた。また「私は自分にはいくつかみどころがあると思っている」については初産婦のみ($p < 0.001$)、「私はたいていの方がやれる程度には物事ができる」では経産婦のみ($p < 0.05$)、時期と有意な関連性が認められた。「私は自分にはいくつかみどころがあると思っている」の質問項目に「そう」と回答した者の初・経産婦全体の割合は、産後1か月(20.7%)、10か月(18.0%)、18か月(17.3%)の順に少なくなる傾向にあり、また、初産婦でも同様の傾向にあった(18.8%、16.7%、16.1%)。さらに「私はたいていの方がやれる程度には物事ができる」の質問項目に「そう」と回答した者の割合も、初・経産婦全体および経産婦とも、産後1か月(38.7%と38.0%)、10か月(30.0%と25.5%)、18か月(26.0%と20.4%)の順に減少していた。その他の肯定的質問項目である「私はすべての点で自分に満足している」、「私は少なくとも他人と同じレベルに立つだけの価値ある人間だと思う」および「私はいつも自分に対して前向きな態度をとっている」の質問項目には、初・経産婦およびその全体ともに、産後の時期に有意な関連性が認められなかった。さらに、表Ⅲ-9と図Ⅲ-7に示した自己価値観の5つの否定的な質問項目の全てにおいて、出産後3期と有意な関連性がみられなかった。

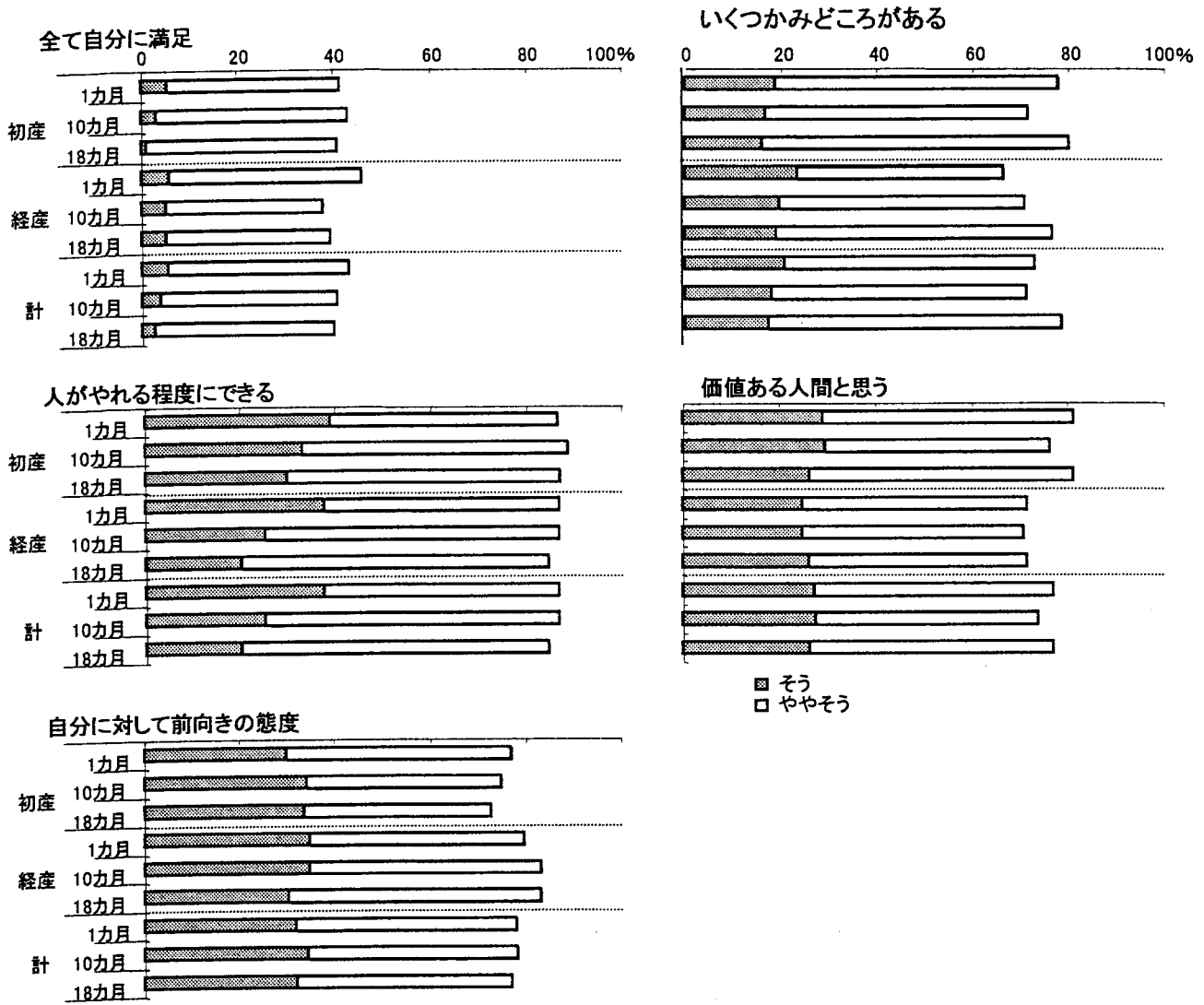
一方、産後の3期全体で、初・経産婦間で比較すると、「私は自分にはいくつかみどころがあると思っている」($\chi^2=9.77$, $p < 0.05$)、「私は少なくとも他人と同じレベルに立つだけの価値ある人間だと思う」($\chi^2=10.03$, $p < 0.05$)、「私はいつも自分に対して前向きな態度をとっている」($\chi^2=8.56$, $p < 0.01$)および「もう少し自分を尊敬できたならばと思う」($\chi^2=8.24$, $p < 0.01$)に有意な差が認められた。その質問項目に「そう」と「ややそう」と回答した者の割合は、「私

は自分にはいくつかみどころがあると思っている」(初産婦が76.5%, 経産婦が71.3%), 「私は少なくとも他人と同じレベルに立つだけの価値ある人間だと思う」(79.6%, 71.3%) および「もう少し自分を尊敬できたならばと思う」(58.2%, 51.8%) で、いずれも経産婦より初産婦でやや多かった。しかし、「私はいつも自分に対して前向きな態度をとっている」については、逆に初産婦(74.7%)より経産婦(82.0%)でやや多かった。

表Ⅲ-8 自己価値観(肯定的質問項目)に関する回答(%)の出産後3期における変化

	初産婦			経産婦			初・経産婦計		
	1か月	10か月	18か月	1か月	10か月	18か月	1か月	10か月	18か月
私はすべての点で自分に満足している									
そう	5.4	3.2	1.1	5.8	5.1	5.1	5.6	4.0	2.8
ややそう	36.0	39.8	39.8	40.1	32.8	34.3	37.8	36.8	37.5
ややちがう	44.1	43.5	45.7	35.0	46.0	45.3	40.2	44.6	45.5
ちがう	14.5	13.4	13.4	10.0	16.1	15.3	16.4	14.6	14.2
χ^2 検定	N.S.			N.S.			N.S.		
私は自分にはいくつかみどころがあると思っている									
そう	18.8	16.7	16.1	23.4	19.7	19.0	20.7	18.0	17.3
ややそう	59.1	54.8	64.0	43.1	51.1	57.7	52.3	53.3	61.3
ややちがう	15.1	24.7	14.5	24.8	26.3	21.2	19.2	25.4	17.3
ちがう	7.0	3.8	5.4	8.8	2.9	2.2	7.7	3.4	4.0
χ^2 検定	$\chi^2=20.25, p<0.001$			N.S.			$\chi^2=19.15, p<0.05$		
私はたいていの方がやれる程度には物事ができる									
そう	39.2	33.3	30.1	38.0	25.5	20.4	38.7	30.0	26.0
ややそう	47.3	55.4	57.0	48.9	61.3	64.2	48.0	57.9	60.1
ややちがう	10.8	10.2	10.8	10.9	10.9	15.3	10.8	10.5	12.7
ちがう	2.7	1.1	2.2	2.2	2.2	0	2.5	1.5	1.2
χ^2 検定	N.S.			$\chi^2=15.48, p<0.05$			$\chi^2=15.76, p<0.05$		
私は少なくとも他人と同じレベルに立つだけの価値ある人間だと思う									
そう	29.0	29.6	26.3	24.8	24.8	26.3	27.2	27.6	26.3
ややそう	52.2	46.8	54.8	46.7	46.0	45.3	49.8	46.4	50.8
ややちがう	15.1	20.4	15.6	21.9	27.0	27.0	18.0	23.2	20.4
ちがう	3.8	3.2	3.2	6.6	2.2	1.5	5.0	2.8	2.5
χ^2 検定	N.S.			N.S.			N.S.		
私はいつも自分に対して前向きな態度をとっている									
そう	30.1	34.4	33.9	35.0	35.0	30.7	32.2	34.7	32.5
ややそう	46.8	40.3	38.7	44.5	48.2	52.6	45.8	43.7	44.6
ややちがう	19.4	22.6	24.7	15.3	15.3	14.6	17.6	19.5	20.4
ちがう	3.8	2.7	2.7	5.1	1.5	2.2	4.3	2.2	2.5
χ^2 検定	N.S.			N.S.			N.S.		

第Ⅲ部 出産後18か月までの母親意識の変化とそれに影響する夫（父親）側の要因の初・経産婦別分析

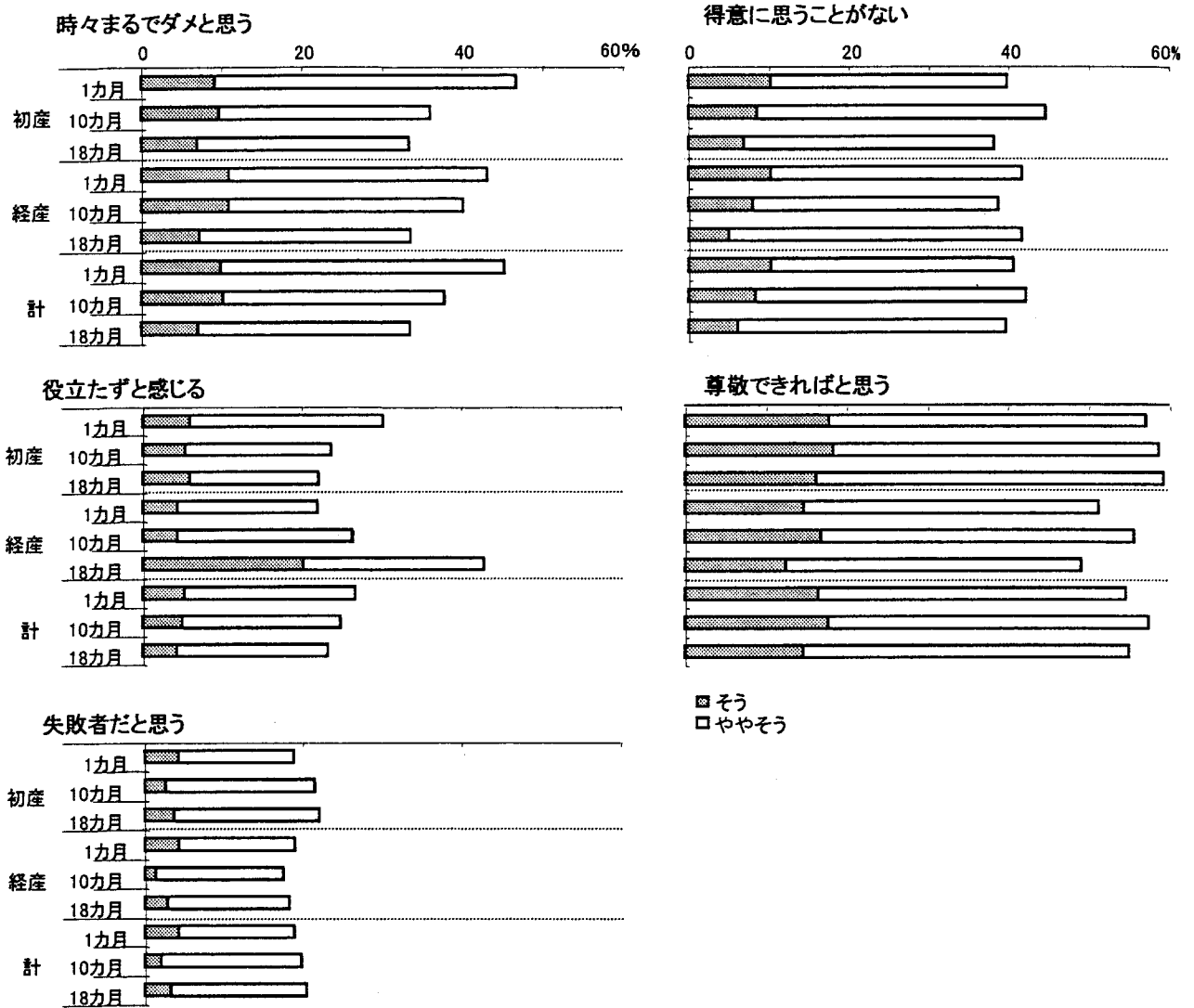


図Ⅲ-6 自己価値観（肯定的質問項目）への回答「そう」「ややそう」の割合

表Ⅲ-9 自己価値観(否定的質問項目)に関する回答(%)の出産後3期における変化

	初産婦			経産婦			初・経産婦計		
	1か月	10か月	18か月	1か月	10か月	18か月	1か月	10か月	18か月
私はときどき自分がまるでだめだと思う									
そう	9.1	9.7	7.0	10.9	10.9	7.3	9.9	10.2	7.1
ややそう	37.6	26.3	26.3	32.1	29.2	26.3	35.3	27.6	26.3
ややちがう	30.6	36.0	36.6	35.0	38.0	46.0	32.5	36.8	40.6
ちがう	22.6	28.0	30.1	21.9	21.9	20.4	22.3	25.4	26.0
χ^2 検定	N.S.			N.S.			N.S.		
私はあまり得意に思うことがない									
そう	10.2	8.6	7.6	10.2	8.0	5.8	10.2	8.4	6.8
ややそう	29.6	36.0	31.2	31.4	30.7	36.5	30.3	33.7	33.4
ややちがう	38.7	37.6	38.2	34.3	39.4	40.1	36.8	38.4	39.0
ちがう	21.5	17.7	23.1	24.1	21.9	17.5	22.6	19.5	20.7
χ^2 検定	N.S.			N.S.			N.S.		
私はときどき自分が確かに役立たずだと感じる									
そう	5.9	5.4	5.9	4.4	4.4	2.9	5.3	5.0	4.6
ややそう	24.2	18.3	16.1	17.5	21.9	22.6	21.4	19.8	18.9
ややちがう	34.9	37.6	38.7	43.1	41.6	38.7	38.4	39.3	38.7
ちがう	34.9	38.7	39.2	35.0	32.1	35.8	35.0	35.9	37.8
χ^2 検定	N.S.			N.S.			N.S.		
もう少し自分を尊敬できたならばと思う									
そう	17.7	18.3	16.1	14.6	16.8	12.4	16.4	17.7	14.6
ややそう	39.2	40.3	43.0	36.5	38.7	36.5	38.1	39.6	40.2
ややちがう	28.0	27.4	23.7	32.1	35.0	37.2	29.7	30.7	29.4
ちがう	15.1	14.0	17.2	16.8	9.5	13.9	15.8	12.1	15.8
χ^2 検定	N.S.			N.S.			N.S.		
いつでも自分を失敗者だと思ふことが多い									
そう	4.3	2.7	3.8	4.4	1.5	3.7	4.3	2.2	3.4
ややそう	14.5	18.8	18.3	14.6	15.1	15.3	14.6	17.6	17.0
ややちがう	32.3	37.6	34.4	38.7	38.7	40.9	35.0	38.1	37.2
ちがう	48.9	40.9	43.5	42.3	43.8	40.1	46.1	42.1	42.1
χ^2 検定	N.S.			N.S.			N.S.		

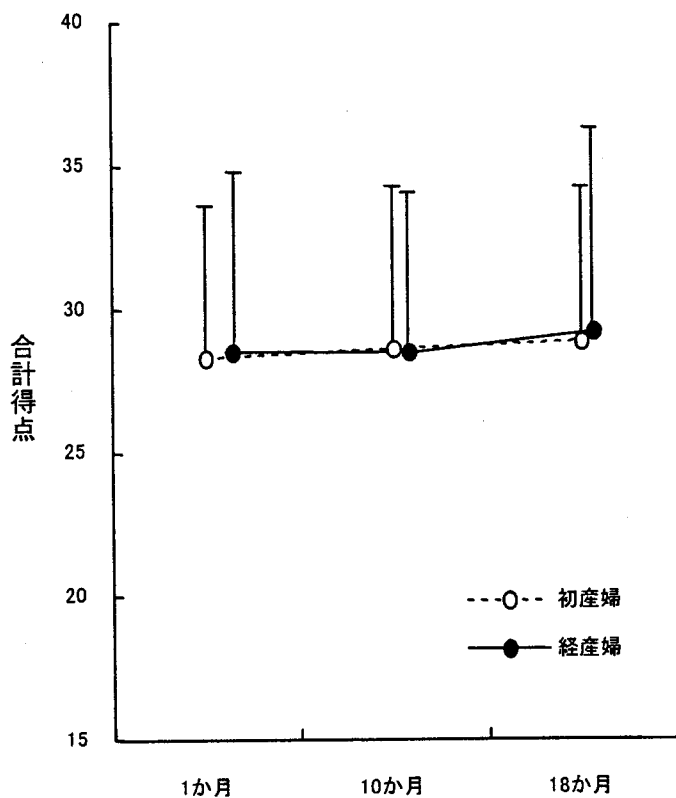
第Ⅲ部 出産後18か月までの母親意識の変化とそれに影響する夫（父親）側の要因の初・経産婦別分析



図Ⅲ-7 自己価値観（否定的質問項目）への回答「そう」「ややそう」の割合

第2項 自己価値観の合計得点の出産後3期における変化

10項目の自己価値観に関する合計得点の平均と標準偏差を産後3期と初・経産婦別に示したのが、表Ⅲ-10と図Ⅲ-8である。自己価値観の合計得点についての2元配置の分散分析の結果、時期、初・経産および両者の交互作用とも有意な効果が認められなかった。



図Ⅲ-8 自己価値観の合計得点（平均と標準偏差）

表Ⅲ-10 自己価値観の合計得点の初・経産婦間の比較と二元配置分散分析の結果

	1か月 Mean (SD)	10か月 Mean (SD)	18か月 Mean (SD)	ANOVA		
				初・経産	時期	交互作用
初産婦	28.3(5.3)	28.6(5.6)	28.8(5.3)	N.S.	N.S.	N.S.
経産婦	28.5(6.3)	28.5(5.6)	29.2(8.1)			

N.S. : not significant

第4節 母親の夫婦関係の出産後3期における変化

第1項 夫婦関係に関する各項目の出産後3期の変化

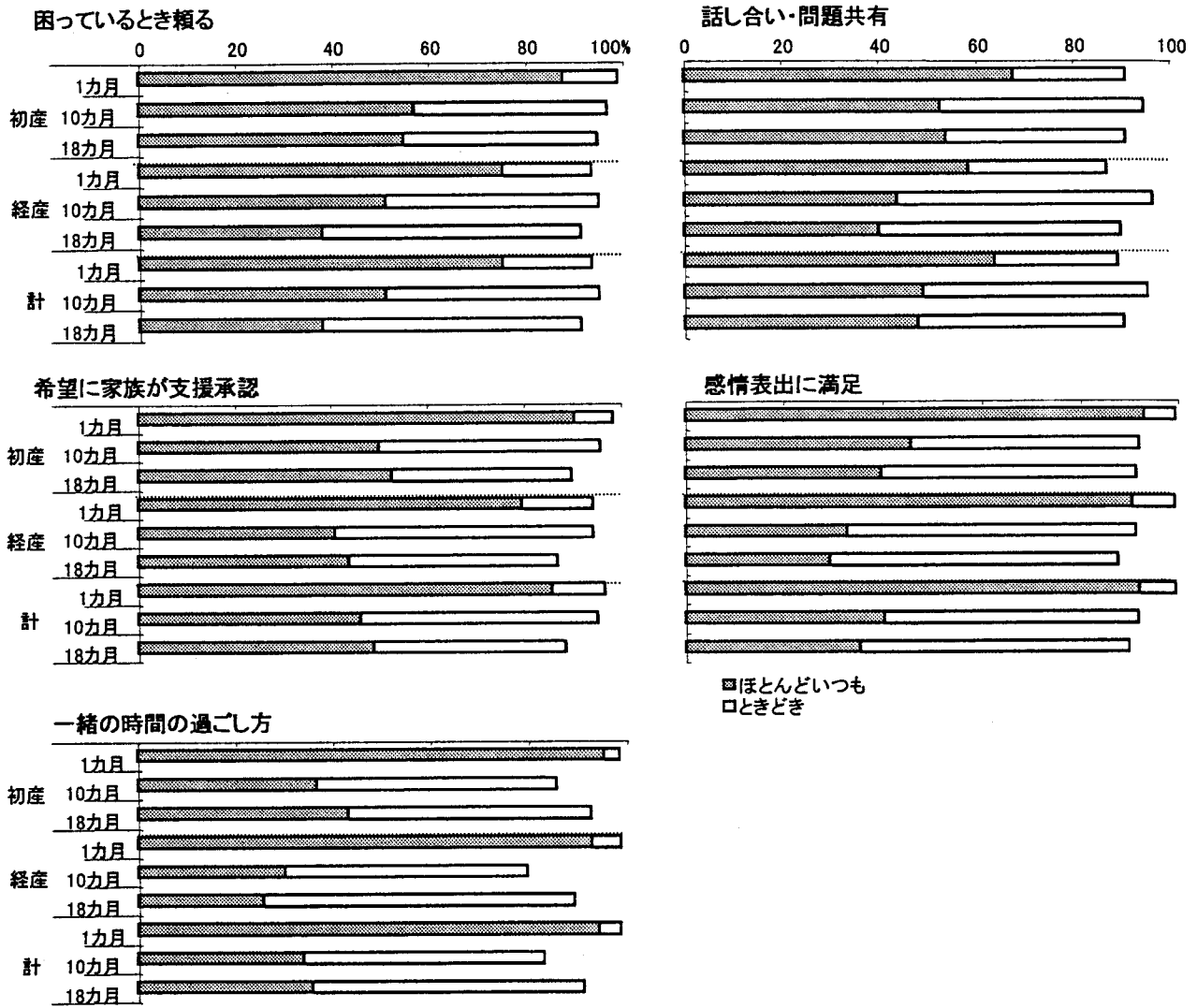
5項目の母親が評価した夫婦関係に関する各選択肢の回答割合を、出産後3期および初産婦、経産婦別に示したのが表Ⅲ-11と図Ⅲ-9である。

夫婦関係に関する5項目の全ての質問項目には、初産婦、経産婦および全集団とも出産後3期に有意な関連性が認められた ($p < 0.0001$)。これら5つの質問項目に対し「ほとんどいつも」と回答した者の割合は、いずれも産後1か月が産後10か月と18か月よりも顕著に多いことは、どの質問項目でも類似した変化であった。たとえば、「私が困っているとき、夫の援助に頼ることができることに満足している」に「ほとんどいつも」と回答した全集団の割合は、産後1か月が82.4%、10か月が54.5%、18か月が48.0%であった。

一方、産後の3期全体で、初・経産婦別に検討すると、5項目全てにおいて「ほとんどいつも」と回答した者の割合は、経産婦よりも初産婦が多かった。ちなみに、この割合をみると、「私が困っているとき、夫の援助に頼ることができることに満足している」では、経産婦が54.7%に比して初産婦が66.5%、「私は、夫が私と話し合ったり、問題共有したりする方法に満足している」は、経産婦が47.4%、初産婦が58.1%、「私は私の希望を夫が支援し認めたりすることに満足している」は経産婦が54.7%、初産婦が64.3%、「私は夫の感情の表現の仕方や、私の怒り、悲しみ、愛などの感情に感じて、夫が示してくれる態度や気持ちに満足している」は、経産婦が50.9%、初産婦が59.5%、「私は夫と一緒に時間の過ごし方に満足している」は経産婦が49.4%、初産婦が58.2%であった。

表Ⅲ-11 夫婦関係に関する回答(%)の出産後3期における変化

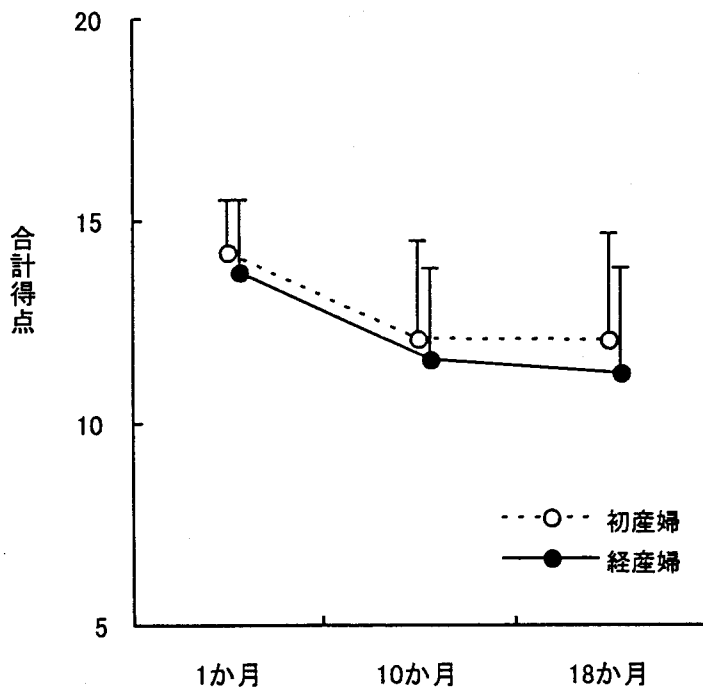
	初産婦			経産婦			初・経産婦計		
	1か月	10か月	18か月	1か月	10か月	18か月	1か月	10か月	18か月
私が困っているとき、夫の援助に頼ることができることに満足している									
ほとんどいつも	87.6	57.0	54.8	75.2	51.1	38.7	82.4	54.5	48.0
ときどき	11.3	39.8	39.8	18.2	43.8	53.3	14.2	41.5	45.5
ほとんどない	1.1	3.2	5.4	6.6	5.1	8.0	3.4	4.0	6.5
χ^2 検定	$\chi^2=45.26, p<0.0001$			$\chi^2=44.13, p<0.0001$			$\chi^2=96.58, p<0.0001$		
私は、夫が私と話し合ったり、問題を共有したりする方法に満足している									
ほとんどいつも	67.7	52.7	53.8	58.4	43.8	40.1	63.8	48.9	48.0
ときどき	23.1	41.9	37.1	28.5	52.6	49.6	25.4	46.4	42.4
ほとんどない	9.1	5.4	9.1	13.1	3.7	10.2	10.8	4.6	9.6
χ^2 検定	$\chi^2=17.18, p<0.01$			$\chi^2=23.45, p<0.0001$			$\chi^2=38.95, p<0.0001$		
私は私の希望を夫が支援し認めたりすることに満足している									
ほとんどいつも	90.3	50.0	52.7	79.6	40.9	43.8	85.8	46.1	48.9
ときどき	8.1	45.7	37.1	14.6	53.3	43.1	10.8	48.9	39.6
ほとんどない	1.6	4.3	10.2	5.8	5.8	13.1	3.4	5.0	11.5
χ^2 検定	$\chi^2=90.55, p<0.0001$			$\chi^2=58.89, p<0.0001$			$\chi^2=147.16, p<0.0001$		
私は夫の感情の表現の仕方や、私の怒り、悲しみ、愛などの感情に感じて夫が示してくれる態度や気持ちに満足している									
ほとんどいつも	93.0	45.7	39.8	90.5	32.8	29.2	92.0	40.2	35.3
ときどき	6.5	46.2	51.6	8.8	58.4	58.4	7.4	51.4	54.5
ほとんどない	0.5	8.1	8.6	0.7	8.8	12.4	0.6	8.4	10.2
χ^2 検定	$\chi^2=131.51, p<0.0001$			130.91, p<0.0001			$\chi^2=258.58, p<0.0001$		
私は夫と一緒に時間の過ごし方に満足している									
ほとんどいつも	95.2	36.6	43.0	92.7	29.9	25.5	94.1	33.7	35.6
ときどき	3.2	48.9	49.5	5.8	49.6	63.5	4.3	49.2	55.4
ほとんどない	1.6	14.5	7.5	1.5	20.4	10.9	1.5	17.0	9.0
χ^2 検定	$\chi^2=163.00, p<0.0001$			$\chi^2=163.43, p<0.0001$			$\chi^2=320.11, p<0.0001$		



図Ⅲ－9 夫婦関係に関する質問項目への回答「ほとんどいつも」「ときどき」の割合

第2項 夫婦関係の合計得点の出産後3期における変化

母親が評価した5項目の夫婦関係に関する合計得点の平均と標準偏差を出産後3期と初・経産婦別に示したのが、表Ⅲ-12と図Ⅲ-10である。夫婦関係の合計得点についての2元配置の分散分析の結果、時期($F=184.64$, $df=2, 642$, $p<0.0001$)と初・経産($F=9.63$, $df=1, 321$, $p<0.01$)に有意な効果が認められたが、両者の交互作用には有意な効果は認められなかった。夫婦関係に関する合計得点の平均には、初産婦および経産婦とも産後1か月に比して10か月、18か月でいずれも有意に低下していた。その合計得点の平均は、産後1か月、18か月で経産婦より初産婦が高く、有意な差が認められた($p<0.05$)。



図Ⅲ-10 夫婦関係の合計得点 (平均と標準偏差)

表Ⅲ-12 夫婦関係の合計得点の初・経産婦間の比較と二元配置分散分析の結果

	1か月 Mean (SD)	10か月 Mean (SD)	18か月 Mean (SD)	ANOVA		
				初・経産	時期	交互作用
初産婦	14.2(1.3)	12.1(2.4)	12.0(2.6)	F=184.64, df2.642, p<0.0001	F=9.63, df1.2, p<0.01	N.S.
経産婦	13.7(1.8)	11.6(2.3)	11.2(2.6)			

N.S. : not significant

第5節 母親の性別役割分業観の出産後3期における変化

第1項 性別役割分業観に関する各項目の出産後3期における変化

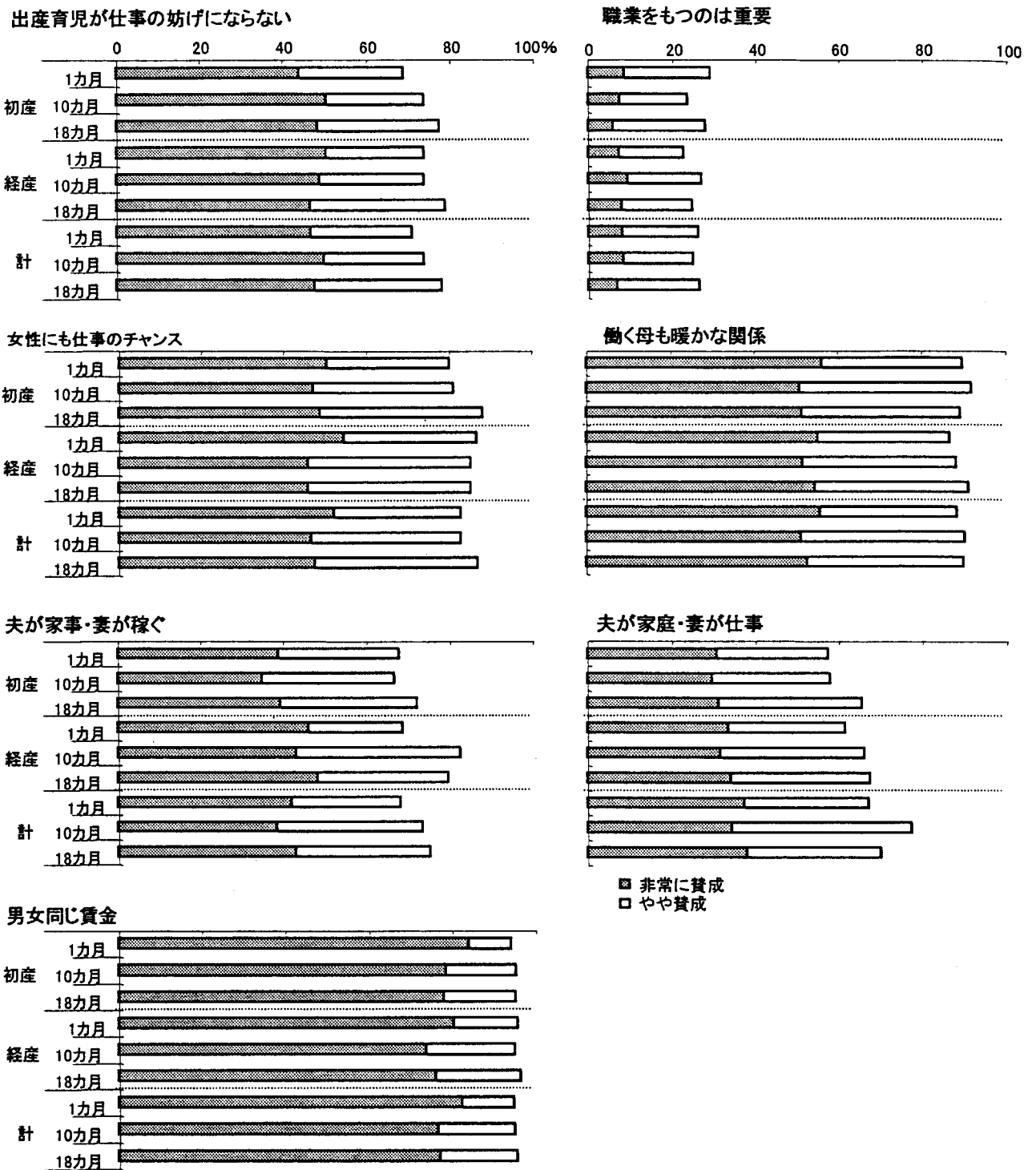
母親の性別役割分業観に関する各選択肢の回答割合を、出産後3期および初産婦、経産婦別に示したのが表Ⅲ-13と表Ⅲ-14および図Ⅲ-11と図Ⅲ-12である。

性別役割分業観の7つの非伝統的質問項目および9つの伝統的質問項目の回答とも、時期と有意な関連性が認められなかった。

次に、出産後3期全体で、初・経産婦別に検討すると、「夫が家事を受け持ち、妻が稼いでもいいと思う」、「家庭で子どもを育てるために夫が家事を受け持ち、妻が外で仕事してもいいと思う」の非伝統的質問項目と「妻が料理や掃除をやり、夫が家族のために金を稼いでくるべきだ」の伝統的質問項目にのみ、初・経産婦間で有意な差が認められた。「夫が家事を受け持ち、妻が稼いでもいいと思う」、「家庭で子どもを育てるために夫が家事を受け持ち、妻が外で仕事してもいいと思う」に「非常に賛成」と「やや賛成」と回答した者の割合は、前者については初産婦が68.8%および経産婦が76.9%、後者については初産婦が60.4%および経産婦が71.5%で、いずれも初産婦の方が少なかった。また、「妻が料理や掃除をやり、夫が家族のために金を稼いでくるべきだ」の伝統的な質問項目に「非常に賛成」と「やや賛成」と回答した者の割合は、経産婦(11.9%)に比して初産婦(14.3%)でやや多かった。しかしその他13の質問項目には、初・経産婦間で有意な差がみられなかった。

表Ⅲ-13 性別役割分業観(非伝統的質問項目)の回答(%)の出産後3期における変化

	初産婦			経産婦			初・経産婦計		
	1か月	10か月	18か月	1か月	10か月	18か月	1か月	10か月	18か月
出産や育児が仕事をする女性にとって妨げにならないようにすべき									
非常に賛成	44.1	50.3	48.4	50.4	48.9	46.7	46.7	49.8	47.7
やや賛成	24.7	23.1	29.0	23.4	24.8	32.1	24.1	23.8	30.3
どちらでもない	19.9	15.6	12.4	10.2	16.8	16.8	15.8	16.1	14.2
やや反対	7.5	7.0	8.6	11.7	5.1	2.9	9.3	6.2	6.2
非常に反対	3.8	3.8	1.6	4.4	4.4	1.5	4.0	4.0	1.5
χ^2 検定	N.S.			N.S.			N.S.		
職業をもつということは自分自身の人生で一番重要なことだ									
非常に賛成	8.6	7.5	5.9	7.3	9.5	8.0	8.1	8.4	6.8
やや賛成	20.4	16.1	22.0	15.3	17.5	16.8	18.3	16.7	19.8
どちらでもない	43.5	46.2	37.1	47.4	43.1	49.6	45.2	44.9	42.4
やや反対	22.0	24.7	29.0	27.0	24.1	21.2	24.1	24.5	25.7
非常に反対	5.4	5.4	5.9	2.9	5.8	4.4	4.3	5.6	5.3
χ^2 検定	N.S.			N.S.			N.S.		
女性にも男性と同じように仕事にチャンスが得られるべきだ									
非常に賛成	50.5	47.3	48.9	54.7	46.0	46.0	52.3	46.7	47.7
やや賛成	29.6	33.9	39.2	32.1	39.4	39.4	30.7	36.2	39.3
どちらでもない	14.5	15.6	9.1	13.1	12.4	10.2	13.9	14.2	9.6
やや反対	2.7	2.2	2.7	0	1.5	2.2	1.5	1.9	2.5
非常に反対	2.7	1.1	0	0	0.7	2.2	1.5	0.9	0.9
χ^2 検定	N.S.			N.S.			N.S.		
働く母でも子どもとの間に暖かでよい関係を持つことができる									
非常に賛成	56.5	51.1	51.6	55.5	51.8	54.7	56.0	51.4	52.9
やや賛成	33.3	40.9	37.6	31.4	36.5	36.5	32.5	39.0	37.2
どちらでもない	4.3	4.8	5.9	10.9	8.8	6.6	7.1	6.5	6.2
やや反対	4.8	3.2	3.8	0.7	2.9	1.5	3.1	3.1	2.8
非常に反対	1.1	0	1.1	1.5	0	0.7	1.2	0	0.9
χ^2 検定	N.S.			N.S.			N.S.		
夫が家事を受け持ち、妻が稼いでもいいと思う									
非常に賛成	38.7	34.9	39.2	46.0	43.1	48.2	41.8	38.4	43.0
やや賛成	29.0	31.7	32.8	22.6	39.4	31.4	26.3	35.0	32.2
どちらでもない	17.7	19.9	14.5	23.4	13.1	13.9	20.1	17.0	14.2
やや反対	12.4	9.7	11.3	4.4	2.9	5.1	9.0	6.8	8.7
非常に反対	2.2	3.8	2.2	3.7	1.5	1.5	2.8	2.8	1.9
χ^2 検定	N.S.			N.S.			N.S.		
家庭で子どもを育てるために夫が家事を受け持ち、妻が外で仕事してもいいと思う									
非常に賛成	30.6	29.6	31.2	37.2	34.3	38.0	33.4	31.6	34.1
やや賛成	26.9	28.5	34.4	30.0	43.1	32.1	28.2	34.7	33.4
どちらでもない	25.3	27.4	21.5	21.9	16.8	20.4	23.8	22.9	21.1
やや反対	12.4	10.2	9.7	7.3	4.4	7.3	10.2	7.7	8.7
非常に反対	4.8	4.3	3.2	3.7	1.5	2.2	4.3	3.1	2.8
χ^2 検定	N.S.			N.S.			N.S.		
男でも女でも同じだけ仕事をすれば同じだけの賃金が支払われるべきだ									
非常に賛成	83.9	78.5	78.0	80.3	73.7	75.9	82.4	76.5	77.1
やや賛成	10.2	16.7	17.2	15.3	21.2	20.4	12.4	18.6	18.6
どちらでもない	4.3	3.8	3.2	3.7	5.1	2.2	4.0	4.3	2.8
やや反対	1.1	1.1	1.1	0.7	0	1.5	0.9	0.6	1.2
非常に反対	0.5	0	0.5	0	0	0	0.3	0	0.3
χ^2 検定	N.S.			N.S.			N.S.		



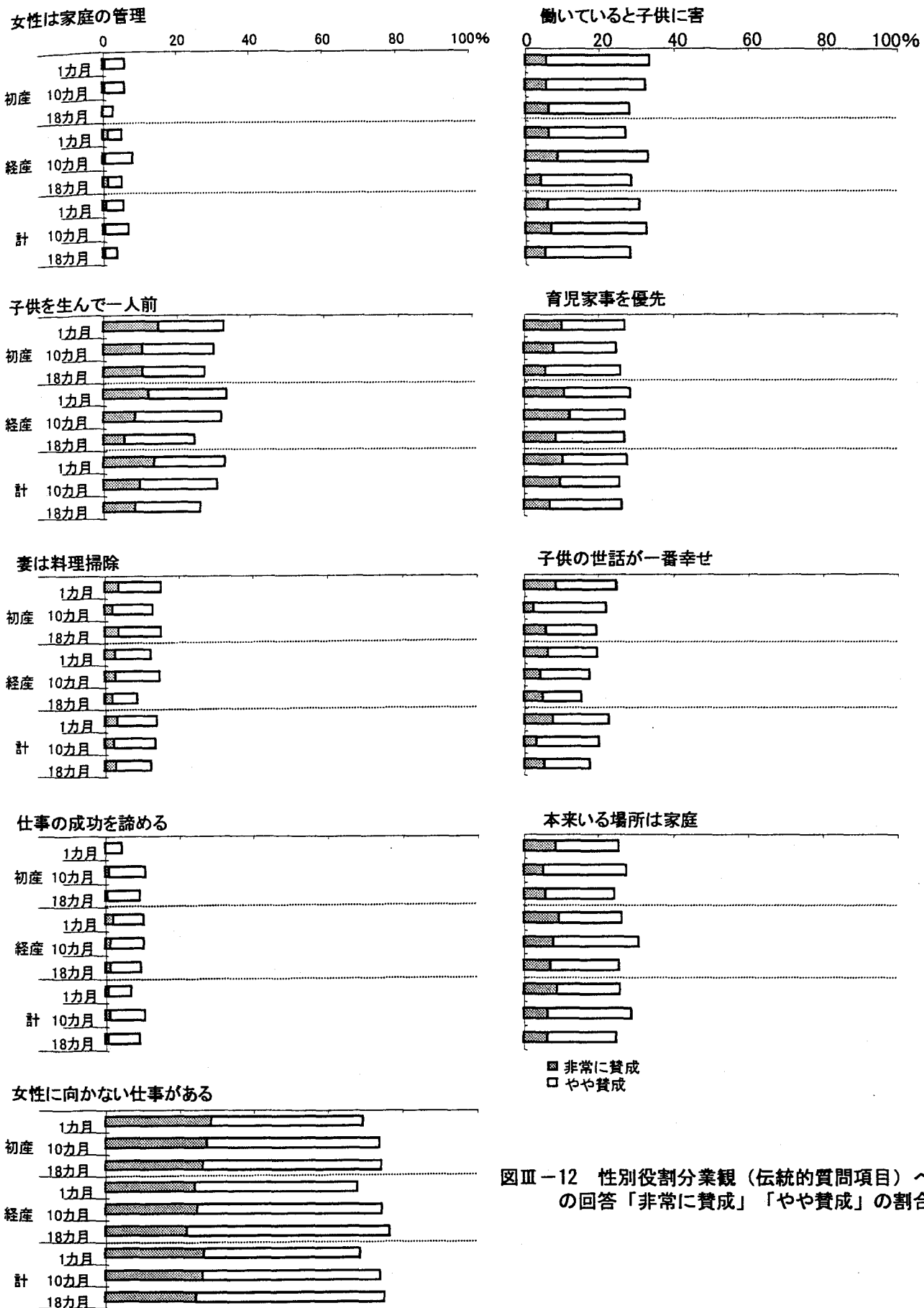
図Ⅲ-11 性別役割分業観（非伝統的質問項目）への回答「非常に賛成」「やや賛成」の割合

性別役割分業観の非伝統的質問項目に「非常に賛成」と回答した者の全体的な割合についてみると、「男でも女でも同じだけ仕事をすれば同じだけの賃金が支払われるべきだ」が約80%前後、「働く母でも子どもとの間に暖かでよい関係を持つことができる」が50%強、「出産や育児が仕事をする女性にとって妨げにならないようにすべき」と「女性にも男性と同じように仕事にチャンスが得られるべきだ」がそれぞれ50%前後、「夫が家事を受け持ち、妻が稼いでもいいと思う」と「家庭で子どもを育てるために夫が家事を受け持ち、妻が外で仕事してもいいと思う」がそれぞれ40%前後、「職業をもつということは自分自身の人生で一番重要なことだ」が10%前後であった。一方、肯定的な質問項目に「非常に賛成」と回答した者の全体的な割合についてみると、比較的多いのは「精神的、感情的に女性に向かない仕事もある」の25%強、「子どもを産んではじめて女性は一人前になれる」、「女性は仕事を持っていても、まず育児と家事を自分の仕事と思うべきだ」、「重要な仕事を持っていても、やはり本来女性のいる場所は家庭なのである」が10%前後、その他の伝統的質問項目では5%前後と低かった。

表Ⅲ-14 性別役割分業観(伝統的質問項目)の回答(%)の出産後3期における変化

	初産婦			経産婦			初・経産婦計		
	1か月	10か月	18か月	1か月	10か月	18か月	1か月	10か月	18か月
女性に家庭の管理をし、国家や政治のことは男性に任せておけばよい									
非常に賛成	0.5	0.5	0	1.5	0.7	1.5	0.9	0.6	0.6
やや賛成	5.4	5.4	2.7	3.7	7.3	3.7	4.6	6.2	3.1
どちらでもない	18.3	19.9	19.4	13.1	16.8	17.5	16.1	18.6	18.6
やや反対	28.5	32.8	34.9	35.8	35.0	40.1	31.6	33.7	37.2
非常に反対	47.3	41.4	43.0	46.0	40.1	37.2	46.7	40.9	40.6
χ^2 検定	N.S.			N.S.			N.S.		
母親が働いていると小学校前の子どもの害がおよびやすい									
非常に賛成	5.9	5.9	6.5	6.6	8.8	4.4	6.2	7.1	5.6
やや賛成	27.4	26.3	21.5	20.4	24.1	24.1	24.5	25.4	22.6
どちらでもない	30.1	41.4	36.6	41.6	30.7	38.7	35.0	36.8	37.5
やや反対	21.5	15.6	19.4	16.1	16.8	17.5	19.2	16.1	18.6
非常に反対	15.1	10.8	16.1	15.3	19.7	15.3	15.2	14.6	15.8
χ^2 検定	N.S.			N.S.			N.S.		
子どもを産んでからはじめて女性は一人前になれる									
非常に賛成	10.2	8.1	5.9	10.9	12.4	8.8	10.5	9.9	7.1
やや賛成	16.7	16.7	19.9	17.5	14.6	18.2	17.0	15.8	19.2
どちらでもない	29.6	30.6	29.6	27.7	30.7	26.3	28.8	30.7	28.2
やや反対	17.7	18.8	22.0	24.1	21.9	28.5	20.4	20.1	24.8
非常に反対	25.8	25.8	22.6	19.7	20.4	18.2	23.2	23.5	20.7
χ^2 検定	N.S.			N.S.			N.S.		
女性は仕事を持っていても、まず育児と家事を自分の仕事と思うべきだ									
非常に賛成	15.1	10.8	10.8	12.4	8.8	5.8	13.9	9.9	8.7
やや賛成	17.7	19.4	16.7	21.2	23.4	19.0	19.2	21.1	17.6
どちらでもない	25.8	28.5	28.5	19.0	23.4	29.9	22.9	26.3	29.1
やや反対	27.4	26.9	26.3	26.3	29.2	29.9	26.9	27.9	27.9
非常に反対	14.0	14.5	17.7	21.2	15.3	15.3	17.0	14.9	16.7
χ^2 検定	N.S.			N.S.			N.S.		
妻が料理や掃除をやり、夫が家族のために金を稼いでくるべきだ									
非常に賛成	3.8	2.2	3.8	2.9	2.9	2.2	3.4	2.5	3.1
やや賛成	11.3	10.8	11.3	9.5	11.7	6.6	10.5	11.1	9.3
どちらでもない	26.9	38.2	35.5	24.8	24.8	24.8	26.0	32.5	31.0
やや反対	23.1	21.5	23.7	24.1	32.8	35.0	23.5	26.3	28.5
非常に反対	34.9	27.4	25.8	38.7	27.7	31.4	36.5	27.6	28.2
χ^2 検定	N.S.			N.S.			N.S.		
女性は家において、子どもの世話をしているのが一番幸せである									
非常に賛成	8.6	3.2	5.9	6.6	4.4	5.1	7.7	3.7	5.6
やや賛成	16.1	19.4	13.4	13.1	13.1	10.2	14.9	16.7	12.1
どちらでもない	43.5	47.8	44.6	39.4	40.1	45.3	41.8	44.6	44.9
やや反対	19.4	15.6	23.1	29.2	26.3	20.4	23.5	20.1	22.0
非常に反対	12.4	14.0	12.9	11.7	16.1	19.0	12.1	14.9	15.5
χ^2 検定	N.S.			N.S.			N.S.		
子どものいる女性は仕事の成功をあきらめなければならない									
非常に賛成	0.5	1.1	0.5	2.2	0.7	1.5	1.2	1.5	0.9
やや賛成	4.3	9.7	8.6	8.0	1.5	8.0	5.9	9.3	9.4
どちらでもない	10.8	12.4	18.8	14.6	8.8	15.3	12.4	15.5	17.3
やや反対	30.1	31.7	36.6	29.9	19.7	41.6	30.0	31.0	38.7
非常に反対	54.3	45.2	35.5	45.3	29.9	33.6	50.5	42.7	34.7
χ^2 検定	N.S.			N.S.			N.S.		
重要な仕事を持っていても、やはり本来女性のいる場所は家庭なのである									
非常に賛成	8.6	5.4	5.9	9.5	8.0	7.3	9.0	6.5	6.5
やや賛成	16.7	22.0	18.3	16.8	22.6	18.2	16.7	22.3	18.3
どちらでもない	26.9	36.6	32.3	27.0	19.7	30.7	6.9	29.4	31.6
やや反対	25.8	18.8	18.8	27.0	28.5	22.6	26.3	22.9	20.4
非常に反対	22.0	17.2	24.7	19.7	21.2	21.2	21.1	18.9	23.2
χ^2 検定	N.S.			N.S.			N.S.		
精神的、感情的に女性に向かない仕事もある									
非常に賛成	29.0	27.4	26.3	24.1	24.8	21.9	26.9	26.3	24.5
やや賛成	40.9	46.2	47.8	43.8	49.6	54.7	42.1	47.7	50.8
どちらでもない	18.8	18.3	18.8	26.3	16.1	14.6	22.0	17.3	17.0
やや反対	9.1	4.3	3.8	2.2	5.8	5.1	6.2	5.0	4.3
非常に反対	2.2	3.8	3.2	3.7	3.7	3.7	2.8	3.7	3.4
χ^2 検定	N.S.			N.S.			N.S.		

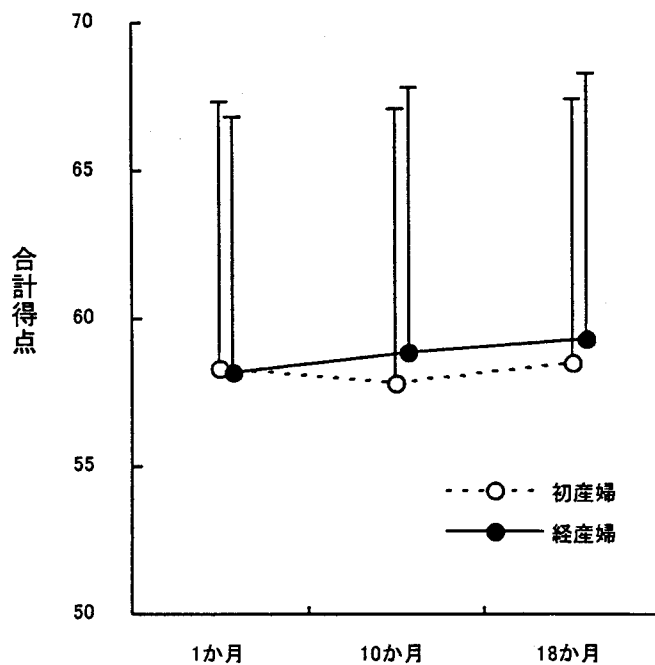
第Ⅲ部 出産後18か月までの母親意識の変化とそれに影響する夫（父親）側の要因の初・経産婦別分析



図Ⅲ-12 性別役割分業観（伝統的質問項目）への回答「非常に賛成」「やや賛成」の割合

第2項 性別役割分業観の合計得点の出産後3期における変化

母親が評価した16項目の性別役割分業観に関する合計得点の平均と標準偏差を産後3期と初・経産婦別に示したのが、表Ⅲ-15と図Ⅲ-13である。性別役割分業観の合計得点についての2元配置の分散分析の結果、時期、初・経産および両者の交互作用には、いずれも有意な効果が認められなかった。



図Ⅲ-13 性別役割分業観の合計得点 (平均と標準偏差)

表Ⅲ-15 性別役割分業観の合計得点の初・経産婦間の比較と二元配置分散分析の結果

	1か月 Mean (SD)	10か月 Mean (SD)	18か月 Mean (SD)	ANOVA		
				初・経産	時期	交互作用
初産婦	58.3 (9.0)	57.8 (9.3)	58.4 (8.9)	N. S.	N. S.	N. S.
経産婦	58.1 (8.6)	58.8 (8.9)	59.2 (8.9)			

N. S. : not significant

第6節 父親意識の出産後3期における変化

第1項 父親意識に関する肯定的質問項目の出産後3期における変化

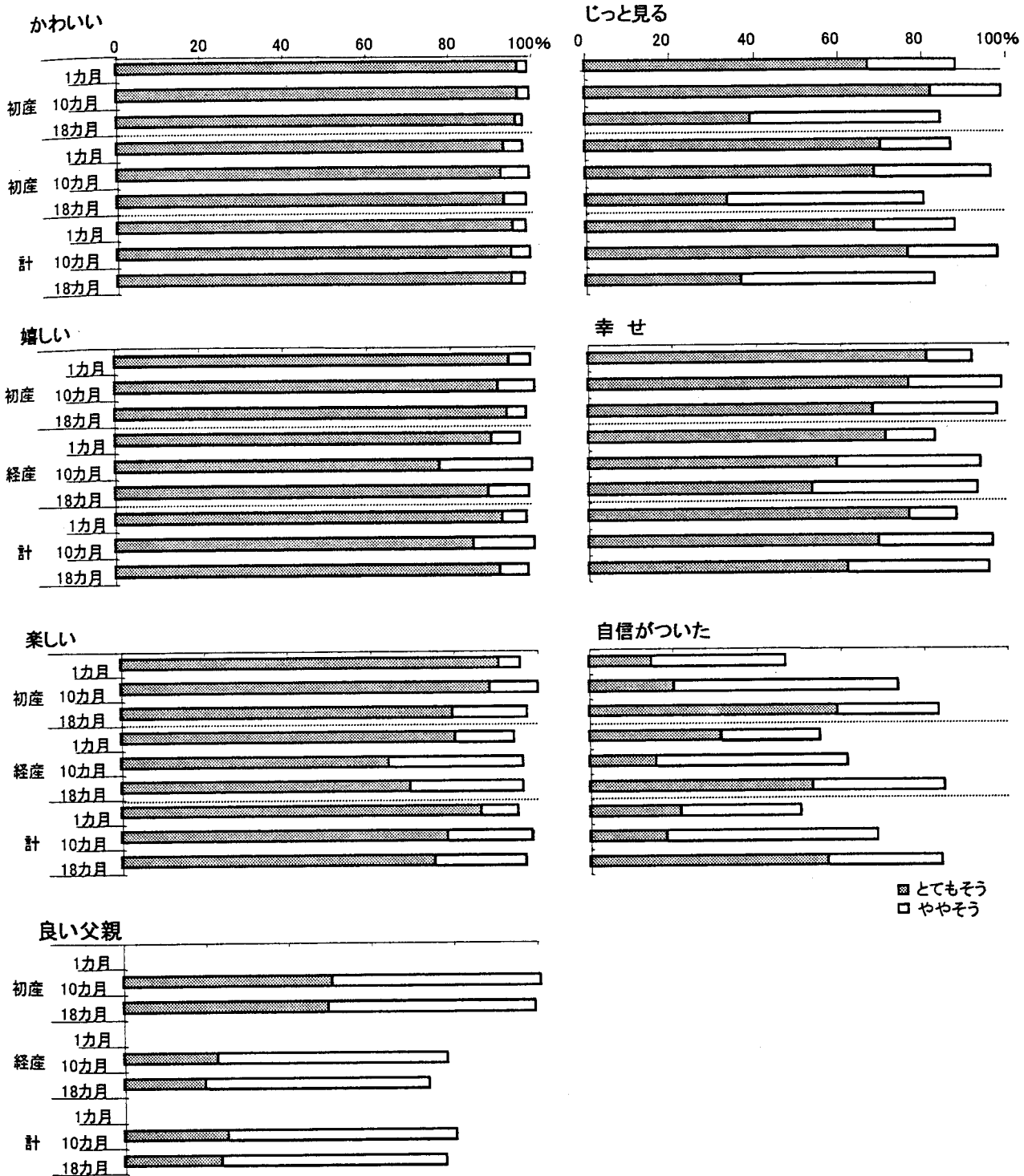
7項目の父親意識の肯定的質問項目における「とてもそう」と「ややそう」と回答した者の割合を、出産後3期および初産・経産婦群の父親別に示したのが表Ⅲ-16と図Ⅲ-15である。

出産後3期と有意な関連性が認められたのは、「子どもは私をじっとみてくれる」、「子どもと一緒にいるのは嬉しい」、「子育てをしている今は幸せ」、「子どもと遊ぶのは楽しい」、「子育てを自分でやれる自信がついた」の5項目であった ($p < 0.0001 \sim p < 0.05$)。「子どもは私をじっとみてくれる」の質問項目に「とてもそう」と回答した者の割合は、初産婦・経産婦の父親および全体でも、産後1か月と10か月に比して、産後18か月で低値を示していた。全体での「とてもそう」と回答した者の割合は、出産後1か月が68.4%、10か月が76.5%に対し、18か月では36.8%であった。「子どもと一緒にいるのは嬉しい」については「とてもそう」と回答した割合は、全体で、出産後1か月が92.3%、10か月が85.4%および18か月が91.6%で、10か月では1か月および18か月に比して低値であった。「子育てをしている今は幸せ」の質問項目に対し「とてもそう」と回答した者の割合は、全体では、1か月が76.5%、10か月が69.0%、18か月が61.6%であり、「子どもと遊ぶのは楽しい」の質問項目に対し「とてもそう」と回答した者の割合は86.4%、78.3%、75.2%であり、いずれも産後1か月、10か月に比して、産後18か月で低値を示した。一方、「子育てを自分でやれる自信がついた」に「とてもそう」と回答した者の割合は、産後1か月と10か月に比して、18か月で高値を示し、全体で、産後1か月が22.0%、10か月が18.6%、18か月が56.7%であった。

表Ⅲ-16 父親意識(肯定的質問項目)に関する回答(%)の出産後3期における変化

	初産婦			経産婦			初・経産婦計		
	1か月	10か月	18か月	1か月	10か月	18か月	1か月	10か月	18か月
子どもはかわいい									
とてもそう	96.8	96.8	96.2	93.4	92.7	93.4	95.4	95.0	95.0
ややそう	2.2	2.7	1.6	4.4	6.6	5.1	3.1	4.3	3.1
χ^2 検定	N.S.			N.S.			N.S.		
子どもは私をじっとみてる									
とてもそう	67.0	82.3	39.2	70.1	68.6	33.6	68.4	76.5	36.8
ややそう	21.0	16.7	45.2	16.8	27.7	46.7	19.2	21.4	45.8
χ^2 検定	$\chi^2=84.83, p<0.0001$			$\chi^2=64.91, p<0.0001$			$\chi^2=143.00, p<0.0001$		
子どもと一緒にいるのは嬉しい									
とてもそう	94.1	91.4	93.5	89.8	77.4	89.1	92.3	85.4	91.6
ややそう	4.8	8.6	4.3	6.6	21.9	9.5	5.6	14.2	6.5
χ^2 検定	$\chi^2=10.74, 0.097$			$\chi^2=12.21, p<0.01$			$\chi^2=23.55, p<0.001$		
子育てしている今は幸せ									
とてもそう	80.6	76.3	67.7	70.8	59.1	53.3	76.5	69.0	61.6
ややそう	10.8	22.0	29.6	11.7	34.3	39.4	11.5	27.2	33.7
χ^2 検定	$\chi^2=31.83, p<0.0001$			$\chi^2=35.42, p<0.0001$			$\chi^2=64.98, p<0.0001$		
子どもと遊ぶのは楽しい									
とてもそう	90.9	88.7	79.6	80.3	64.2	69.3	86.4	78.3	75.2
ややそう	4.8	11.3	17.7	13.9	32.1	27.0	8.7	20.1	21.7
χ^2 検定	$\chi^2=23.76, p<0.001$			$\chi^2=16.69, p<0.05$			$\chi^2=31.55, p<0.0001$		
子育てを自分でやれる自信がついた									
とてもそう	15.1	20.4	59.1	31.4	16.1	53.3	22.0	18.6	56.7
ややそう	31.7	53.2	24.2	23.4	45.3	31.4	28.2	49.8	27.2
χ^2 検定	$\chi^2=141.13, p<0.0001$			$\chi^2=59.77, p<0.0001$			$\chi^2=182.53, p<0.0001$		
子どもにとってよい父親だと思う									
とてもそう		26.9	26.3		22.6	19.7		25.1	23.5
ややそう		54.8	54.3		55.5	54.0		55.1	54.2
χ^2 検定	N.S.			N.S.			N.S.		

第Ⅲ部 出産後18か月までの母親意識の変化とそれに影響する夫（父親）側の要因の初・経産婦別分析



図Ⅲ-14 父親意識（肯定的質問項目）への回答「とてもそう」「ややそう」の割合

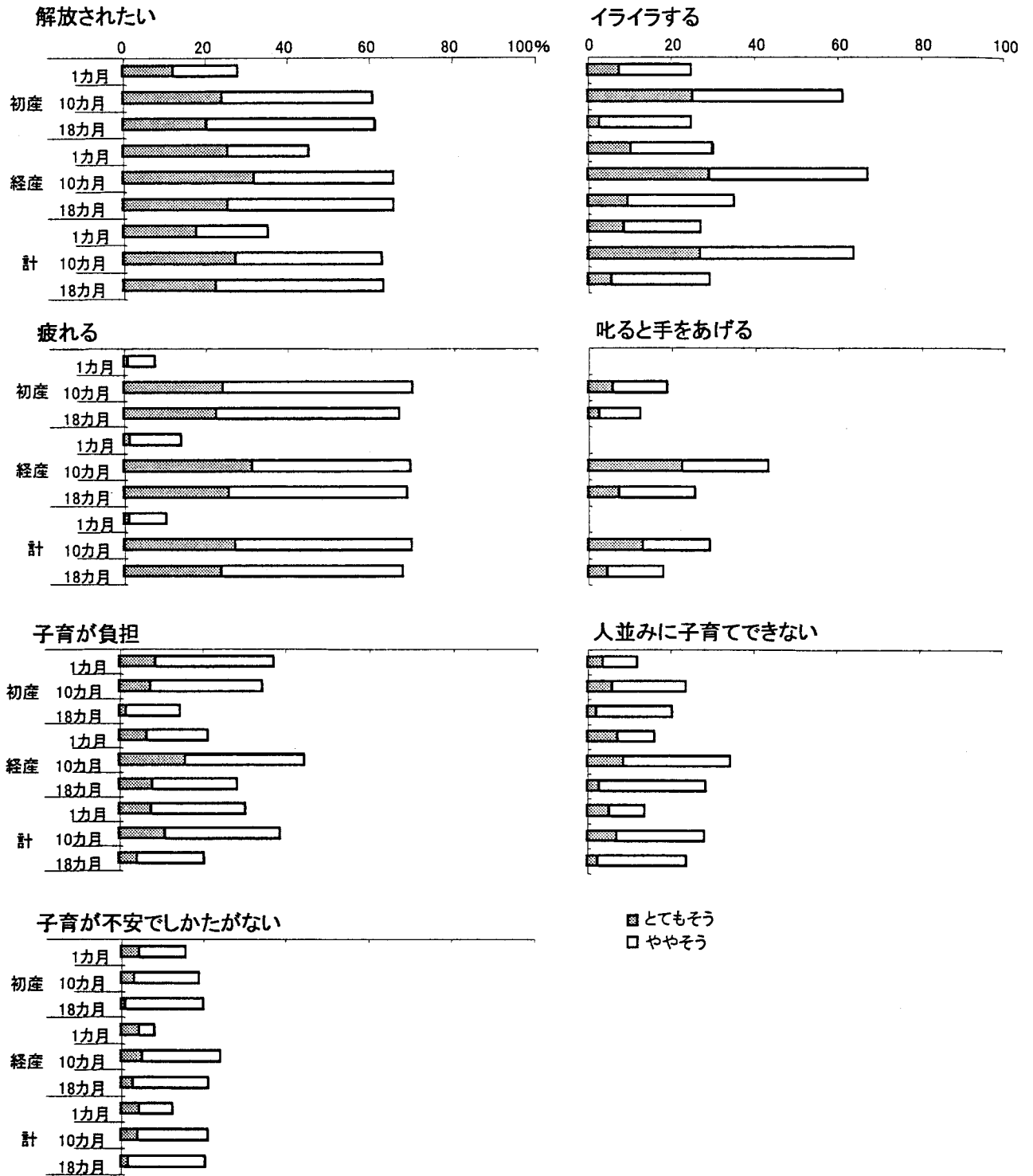
第2項 父親意識に関する否定的質問項目の出産後3期における変化

7項目の父親意識の否定的質問項目における「とてもそう」と「ややそう」と回答した者の割合を、出産後3期および初・経産婦別に示したのが表Ⅲ-17と図Ⅲ-15に示した。

出産後3期と有意な関連性が認められたのは経産婦と全体で、7項目すべてであった。初産婦の夫については、「子どもを叱るあまり思わず手をあげることがある」を除いた質問項目で有意な関連性が認められた。「とてもそう」、「ややそう」と回答した者の割合を3期で比較すると、「ときどき子育てから解放されたいと思う」($p<0.0001$)で、「とてもそう」、「ややそう」と回答した者の割合は、初・経産婦の夫とも産後10か月と18か月に比して産後1か月で著しく低く、全体でも、産後1か月が35.3%、10か月が62.8%、18か月が63.2%となっていた。「子育てでイライラすることがある」($p<0.0001$)では、初・経産婦の夫とも産後1か月と18か月に比して10か月で高く、1か月が26.9%、18か月が29.1%に比して、10か月が63.8%と急増していた。「子育ては疲れる」($p<0.0001$)では、初・経産婦の夫とも産後10か月と18か月に比して産後1か月では低く、全体でも産後1か月が10.2%、10か月が69.7%、18か月が67.5%であった。「子どもを叱るあまり思わず手をあげることがある」では、10か月が29.1%で、18か月が18.0%でやや低下していた。「子育てが負担である」($p<0.0001$)では、初産婦の夫では産後1か月が37.1%、10か月で34.4%、18か月で14.5%と減少し、経産婦の夫では産後1か月21.2%、18か月28.5%に比して10か月で44.5%と高かった。「人並みに子育てできないと感じる」($p<0.0001$)では、経産婦の夫では、産後1か月と18か月に比して10か月で高く、全体でも同じ傾向であった。「子育てが不安でしかたがない」($p<0.0001$)では、1か月が12.4%に比して10か月が21.1%、18か月が20.4%でやや高かった。

表Ⅲ-17 父親意識(否定的質問項目)に関する回答(%)の出産後3期における変化

	初産婦			経産婦			初・経産婦計		
	1か月	10か月	18か月	1か月	10か月	18か月	1か月	10か月	18か月
子育てから解放されたいと思う									
とてもそう	12.4	24.2	20.4	25.5	32.1	25.5	18.0	27.6	22.6
ややそう	15.6	36.6	40.9	19.7	33.6	40.1	17.3	35.3	40.6
χ^2 検定	177.60, p<0.0001			95.75, p<0.0001			$\chi^2=267.5$, p<0.0001		
子育てでイライラすることがある									
とてもそう	10.2	29.2	9.5	7.5	25.3	2.7	8.7	26.9	5.6
ややそう	19.7	38.0	25.5	17.2	36.0	22.0	18.3	36.8	23.5
χ^2 検定	$\chi^2=134.51$, p<0.0001			$\chi^2=214.27$, p<0.0001			$\chi^2=345.31$, p<0.0001		
子育ては疲れる									
とてもそう	1.1	24.2	22.6	1.5	31.4	25.5	1.2	27.2	23.8
ややそう	6.5	45.7	44.1	12.4	38.0	43.1	9.0	42.4	43.7
χ^2 検定	$\chi^2=365.80$, p<0.0001			$\chi^2=275.55$, p<0.0001			$\chi^2=633.36$, p<0.0001		
子どもを叱るあまり手をあげることがある									
とてもそう		5.9	2.7		22.6	7.3		13.0	4.6
ややそう		12.9	9.7		20.4	18.2		16.1	13.3
χ^2 検定	N.S.			$\chi^2=14.13$, p<0.01			$\chi^2=17.21$, p<0.001		
子育てが負担である									
とてもそう	8.6	7.5	1.6	6.6	16.1	8.0	7.7	11.1	4.3
ややそう	28.5	26.9	12.9	14.6	28.5	20.4	22.6	27.6	16.1
χ^2 検定	$\chi^2=166.37$, p<0.0001			$\chi^2=141.29$, p<0.0001			$\chi^2=288.67$, p<0.0001		
人並みに子育てできないと感じる									
とてもそう	7.3	7.8	2.9	3.8	5.9	2.2	5.3	7.1	2.5
ややそう	7.8	25.5	25.5	8.1	17.7	18.3	8.4	21.1	21.4
χ^2 検定	$\chi^2=150.59$, p<0.0001			$\chi^2=241.89$, p<0.0001			$\chi^2=382.92$, p<0.0001		
子育てが不安でしかたがない									
とてもそう	4.4	5.1	2.9	4.3	3.2	1.1	4.3	4.0	1.9
ややそう	3.7	19.0	18.2	11.3	15.6	18.8	8.1	17.0	18.6
χ^2 検定	$\chi^2=207.59$, p<0.0001			$\chi^2=200.16$, p<0.0001			$\chi^2=401.78$, p<0.0001		

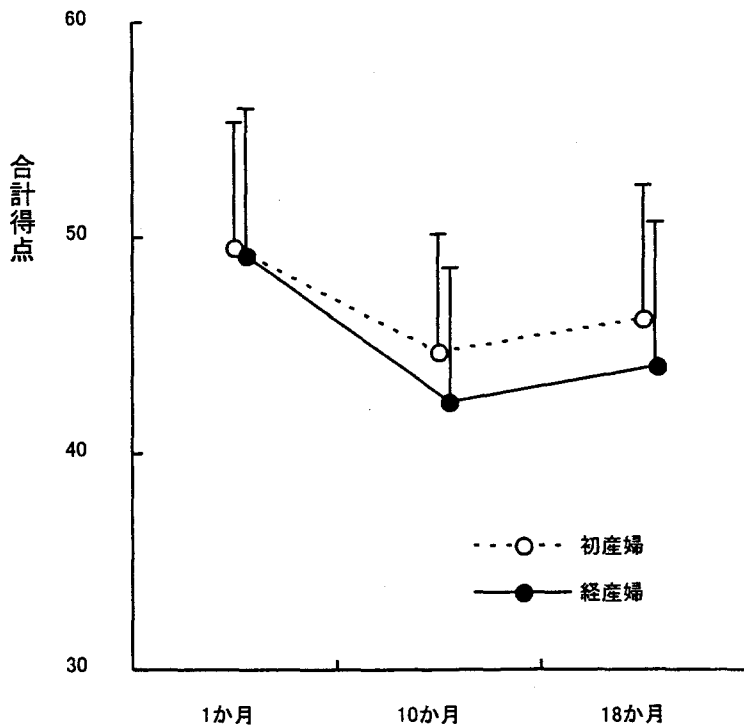


図Ⅲ-15 父親意識（否定的質問項目）への回答「とてもそう」「ややそう」の割合

第3項 父親意識の合計得点の出産後3期における変化

17項目の父親意識に関する合計得点の平均と標準偏差を産後3つの時期と初・経産婦の夫別に示したのが、表Ⅲ-18と図Ⅲ-16である。

父親意識の合計得点についての2元配置の分散分析の結果、時期 ($F=112.74$, $df=2, 642$, $p<0.0001$)、初・経産婦の夫 ($F=10.03$, $df=1, 321$, $p<0.01$) および両者の交互作用 ($F=3.79$, $df=2, 642$, $p<0.05$) のいずれにも有意な効果が認められた。父親意識の合計得点の平均は、初産婦の夫および経産婦の夫とも産後1か月が最も高く、次いで18か月、10か月の順に低かった。Post hoc testの結果、初産婦の夫及び経産婦の夫とも、1か月に比較して10か月および18か月では低く、また10か月に比して18か月では高く、いずれも有意な差が認められた ($p<0.05$)。また、父親意識の合計得点が産後10か月と18か月では、初産婦の夫では経産婦の夫に比較し高く ($p<0.05$)、有意な差が認められた。



図Ⅲ-16 父親意識の合計得点 (平均と標準偏差)

表Ⅲ-18 父親意識の合計得点の初・経産婦間の比較と二元配置分散分析の結果

1か月 Mean (SD)	10か月 Mean (SD)	18か月 Mean (SD)	初・経産	ANOVA 時期	交互作用
初産婦 49.5 (5.9)	44.6 (5.5)	46.2 (6.2)	F=10.03, df=1, 321, p<0.001	F=112.74, df=2, 642, p<0.0001	F=3.79, df=2, 642 p<0.05
経産婦 49.1 (6.9)	42.3 (6.3)	44.0 (6.7)			

第7節 父親の育児の出産後3期の変化

第1項 父親の育児に関する質問の回答割合の出産後3期における変化

父親の育児に関する質問項目における「した」および「しない」の回答割合を、出産後3期および初・経産婦別に示したのが表Ⅲ-19と図Ⅲ-17である。

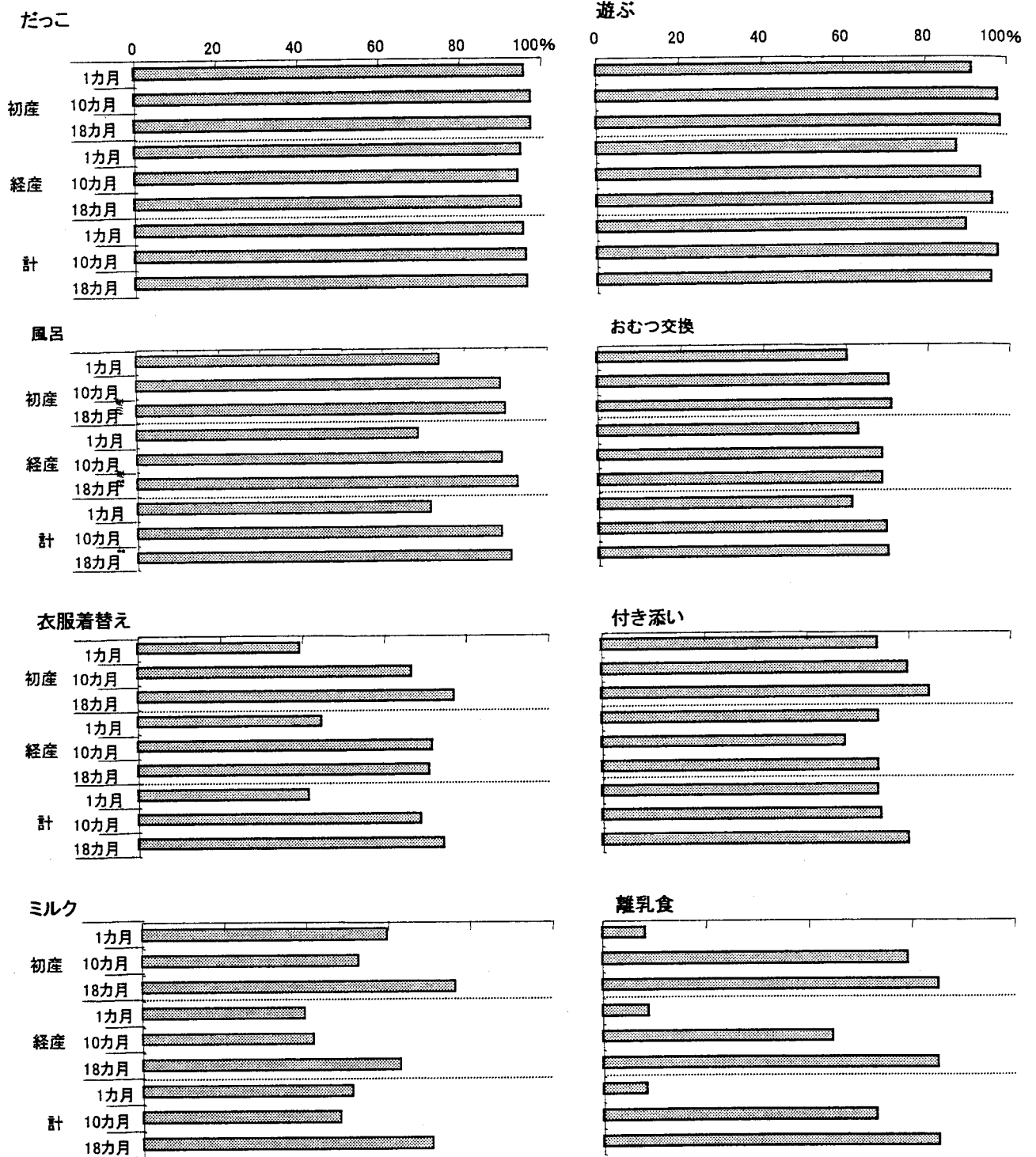
出産後3期と有意な関連性が認められたのは、「遊ぶ」($p < 0.0001$)、「風呂」($p < 0.0001$)、「衣服の着替え」($p < 0.0001$)、「ミルク」($p < 0.0001$)、「離乳食」($p < 0.0001$)であり、初・経産婦の夫および全体のいずれにおいても有意な差が認められた。また、「おむつ交換」($p < 0.05$)については、初産婦の夫および全体で有意な差が認められた。「だっこ」と「付き添い」についてはいずれにおいても時期と有意な関連性がみられなかった。

「遊ぶ」、「風呂」、「おむつ交換」、および「衣服の着替え」を「した」と回答した者の割合は、初産婦の夫、経産婦の夫および全体のいずれにおいても産後1か月、10か月、18か月の順に多くなる傾向にあった。育児行動を行う者の比率を全体でみると、「遊ぶ」は産後どの時期にも多く、1か月で89.8%、10か月で96.0%、18か月で97.5%であった。「風呂」と「おむつ交換」では、それぞれ1か月が71.5%と61.3%、10か月が88.9%と69.7%および18か月が91.0%と70.0%であった。「衣服着替え」を実施した父親は、1か月が最も少なく41.5%であったが、10か月になると68.7%、18か月では74.3%と多くなる。「ミルク」を与えた父親は、産後1か月(51.1%)と10か月(48.0%)よりも18か月(70.6%)で顕著に多くなった。また、「離乳食」を与えた父親の割合は、当然とはいえ産後1か月めでは極めて少なく8.4%に過ぎなかったが、10か月(52.9%)と18か月(65.0%)になると急激に多くなっていた。

表Ⅲ-19 父親の育児に関する回答(%)の出産後3期における変化

	初産婦			経産婦			初・経産婦計		
	1か月	10か月	18か月	1か月	10か月	18か月	1か月	10か月	18か月
だっこ									
した	95.7	97.3	97.3	94.9	94.2	94.9	95.4	96.0	96.3
しない	4.3	2.7	2.7	5.1	5.8	5.1	4.6	4.0	3.7
χ^2 検定	N.S.			N.S.			N.S.		
遊ぶ									
した	91.4	97.8	98.4	87.6	93.4	96.4	89.8	96.0	97.5
しない	8.6	2.2	1.6	12.4	6.6	3.6	10.2	4.0	2.5
χ^2 検定	$\chi^2=14.24, p<0.001$			$\chi^2=7.82, p<0.05$			$\chi^2=20.59, p<0.0001$		
風呂									
した	73.7	88.7	89.8	68.6	89.1	92.7	71.5	88.9	91.0
しない	26.3	11.3	10.2	31.4	10.9	7.3	28.5	11.1	9.0
χ^2 検定	$\chi^2=22.57, p<0.0001$			$\chi^2=33.45, p<0.0001$			$\chi^2=54.38, p<0.0001$		
おむつ交換									
した	60.2	70.4	71.0	62.8	68.6	68.6	61.3	69.7	70.0
しない	39.8	29.6	29.0	37.2	31.4	31.4	38.7	30.3	30.0
χ^2 検定	$\chi^2=6.196, p<0.05$			N.S.			$\chi^2=7.06, p<0.05$		
衣服着替え									
した	39.2	66.7	76.9	44.5	71.5	70.8	41.5	68.7	74.3
しない	60.8	33.3	23.1	55.5	28.5	29.2	58.5	31.3	25.7
χ^2 検定	$\chi^2=59.19, p<0.0001$			$\chi^2=27.61, p<0.0001$			$\chi^2=84.14, p<0.0001$		
付き添い									
した	53.8	59.7	64.0	54.0	47.4	54.0	53.9	54.5	59.8
しない	46.2	40.3	36.0	46.0	52.6	46.0	46.1	45.5	40.2
χ^2 検定	N.S.			N.S.			N.S.		
ミルク									
した	59.7	52.7	76.3	39.4	41.6	62.8	51.1	48.0	70.6
しない	40.3	47.3	23.7	60.6	58.4	37.2	48.9	52.0	29.4
χ^2 検定	$\chi^2=23.55, p<0.0001$			$\chi^2=18.27, p<0.0001$			$\chi^2=39.47, p<0.0001$		
離乳食									
した	8.1	59.1	65.1	8.8	44.5	65.0	8.4	52.9	65.0
しない	91.9	40.9	34.9	91.2	55.5	35.0	91.6	47.1	35.0
χ^2 検定	$\chi^2=148.18, p<0.0001$			$\chi^2=92.86, p<0.0001$			$\chi^2=236.00, p<0.0001$		

第Ⅲ部 出産後18か月までの母親意識の変化とそれに影響する夫（父親）側の要因の初・経産婦別分析

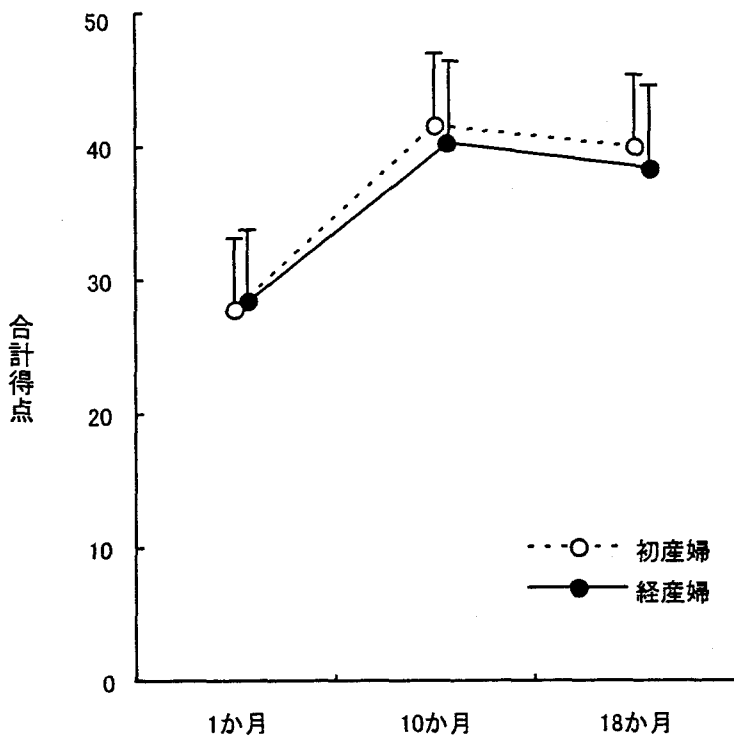


図Ⅲ-17 父親の育児に関する質問項目への回答「した」の割合

第2項 父親の育児の合計得点の出産後3期における変化

父親の育児の合計得点の平均と標準偏差を、出産後3期と初・経産婦の夫別に示したのが、表Ⅲ-20と図Ⅲ-18である。

父親の育児の合計得点についての2元配置の分散分析の結果、時期 ($F=249.21$, $df=2, 642$, $p<0.0001$) と交互作用 ($F=3.68$, $df=2, 642$, $p<0.05$) に有意な効果が認められた。育児の合計得点は、初産婦の夫および経産婦の夫とも、産後1か月が最も低く、次いで産後18か月、10か月の順に増加し、産後1か月に比して10か月と18か月に有意な差が認められた ($p<0.05$)。



図Ⅲ-18 父親の育児の合計得点 (平均と標準偏差)

表Ⅲ-20 父親の育児の合計得点の初・経産婦間の比較と二元配置分散分析の結果

	1か月 Mean (SD)	10か月 Mean (SD)	18か月 Mean (SD)	ANOVA		
				初・経産	時期	交互作用
初産婦	27.8 (5.3)	41.5 (5.3)	39.9 (9.3)	N. S.	$F=243.73$, $df=2, 642$ $p<0.0001$	$F=3.68$, $df=2, 642$ $p<0.05$
経産婦	28.4 (5.3)	40.2 (6.2)	38.3 (10.2)			

N.S. : not significant

第8節 父親の家事の出産後3期の変化

第1項 父親の家事に関する質問の回答割合の出産後3期における変化

父親の家事に関する質問項目における「した」および「しない」の回答割合を、出産後3期および初・経産婦別に示したのが表Ⅲ-21と図Ⅲ-20である。

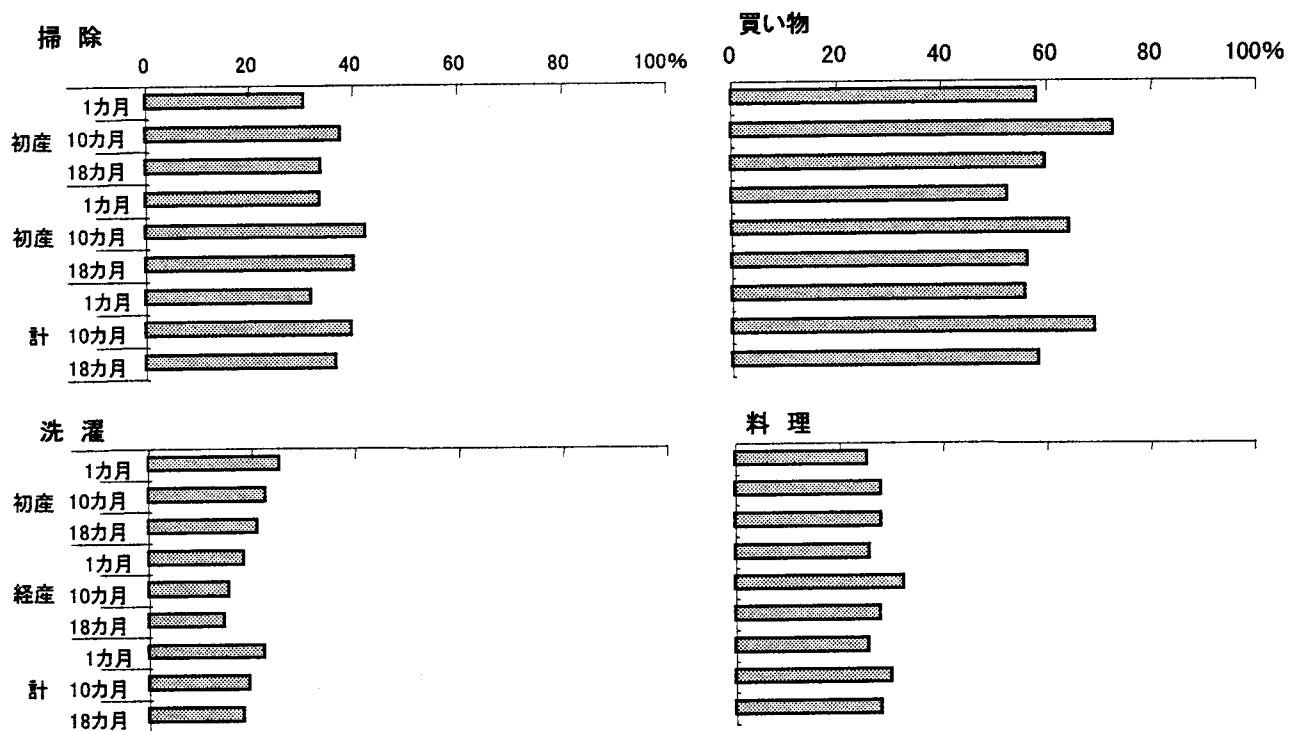
3期と有意な関連性が認められたのは「買い物」($p < 0.01$)であり、初産婦と全体で認められ、初産婦の夫では、「買い物」の実施した者は、産後1か月(58.1%)や18か月(59.7%)よりも10か月(72.6%)が多かった。しかし、「掃除」、「洗濯」および「料理」には、3期と有意な関連性がみられなかった。

第2項 父親の家事の合計得点の出産後3期における変化

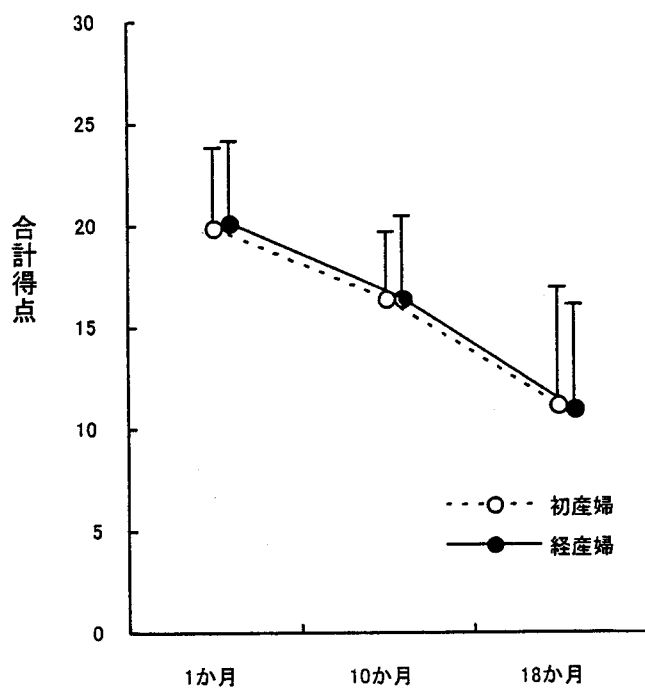
父親の家事における合計得点の平均と標準偏差を、出産後3期と初・経産婦の夫別に示したのが、表Ⅲ-22と図Ⅲ-19である。父親の家事の合計得点についての2元配置の分散分析の結果、出産後3期のみにも有意な効果が認められた($F=273.73, df=2, 642, p < 0.0001$)。家事の合計得点の平均は、初産婦の夫も経産婦の夫も、産後1か月から18か月にかけて暫時減少し、3期のいずれの間にも有意な差が認められた。

表Ⅲ-21 父親の家事に関する回答(%)の出産後3期における変化

	初産婦			経産婦			初・経産婦計		
	1か月	10か月	18か月	1か月	10か月	18か月	1か月	10か月	18か月
掃除									
した	30.6	37.6	33.9	33.6	42.3	40.1	31.9	39.6	36.5
しない	69.4	62.4	66.1	66.4	57.7	59.9	68.1	60.4	63.5
χ^2 検定	N.S.			N.S.			N.S.		
買い物									
した	58.1	72.6	59.7	52.6	64.2	56.2	55.7	69.0	58.2
しない	42.0	27.4	40.3	47.4	35.8	43.8	44.3	31.0	41.8
χ^2 検定	$\chi^2=10.15, p<0.01$			N.S.			$\chi^2=13.61, p<0.01$		
洗濯									
した	25.3	22.6	21.0	19.0	15.3	14.6	22.6	19.5	18.3
しない	74.7	77.4	79.0	81.0	84.7	85.4	77.4	80.5	81.7
χ^2 検定	N.S.			N.S.			N.S.		
料理									
した	25.3	28.0	28.0	25.5	32.1	27.7	25.4	29.7	27.9
しない	74.7	72.0	72.0	74.5	67.9	72.3	74.6	70.3	72.1
χ^2 検定	N.S.			N.S.			N.S.		



図Ⅲ-19 父親の家事に関する質問項目への回答「した」の割合



図Ⅲ-20 父親の家事の合計得点（平均と標準偏差）

表Ⅲ-22 父親の家事の合計得点の初・経産婦間の比較と二元配置分散分析の結果

	1か月 Mean (SD)	10か月 Mean (SD)	18か月 Mean (SD)	ANOVA	
				初・経産 時期	交互作用
初産婦	19.8 (3.9)	16.3 (3.3)	12.7 (12.4)	N. S.	F=273.73, df=2, 642, p<0.0001
経産婦	20.1 (4.0)	16.4 (4.0)	10.9 (6.1)	N. S.	

N. S. : not significant

第9節 妻への精神的支援の出産後3期の変化

第1項 妻への精神的支援に関する質問の回答割合の出産後3期における変化

妻への精神的支援に関する質問項目における「した」および「しない」の回答割合を、出産後3期および初・経産婦別に示したのが表Ⅲ-23と図Ⅲ-21である。

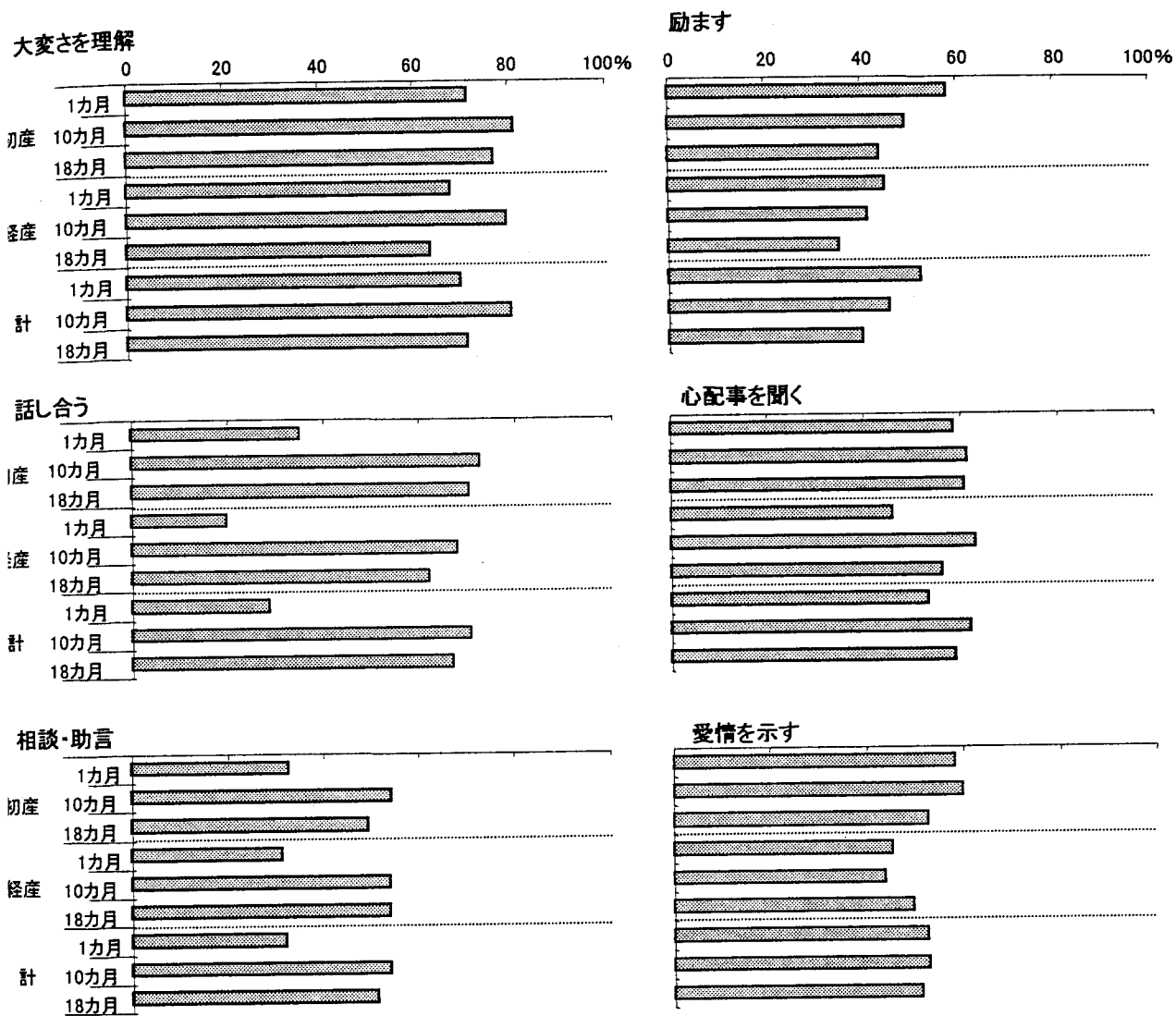
出産後3期と有意な関連性が認められたのは、初産婦の夫では「励ます」($p < 0.05$)、「子育てについて話し合う」($p < 0.0001$)、「子育ての相談・助言」($p < 0.0001$)であり、経産婦の夫では「子育ての大変さを理解する」($p < 0.05$)、「子育てについて話し合う」($p < 0.0001$)、「心配事を聞く」($p < 0.05$)「子育ての相談や助言」($p < 0.0001$)であり、全体では、「子育ての大変さを理解する」($p < 0.01$)、「励ます」($p < 0.01$)、「子育てについて話し合う」($p < 0.0001$)、「子育ての相談や助言」($p < 0.0001$)で、3期と有意な関連が認められた。

これらについて「した」と回答した者の割合(1か月, 10か月, 18か月)は、「子育ての大変さを理解する」(70%, 80.5%, 71.2%)、「子育てについて話し合う」(28.5%, 70.6%, 66.9%)、「子育ての相談や助言」(32.2%, 54.2%, 51.2%)で、いずれも産後1か月で少なく、産後10か月と18か月で多い傾向であった。しかし、「励ます」は、産後1か月で多く、10か月, 18か月(52.6%, 46.1%, 40.6%)の順に少なくなっていた。

表Ⅲ-23 妻への精神的支援に関する回答(%)の出産後3期における変化

	初産婦			経産婦			初・経産婦計		
	1か月	10か月	18か月	1か月	10か月	18か月	1か月	10か月	18か月
大変さを理解									
した	71.5	81.2	76.9	67.9	79.6	63.5	70.0	80.5	71.2
しない	28.5	18.8	23.1	32.1	20.4	36.5	30.0	19.5	28.8
χ^2 検定	N.S.			$\chi^2=9.05, p<0.05$			$\chi^2=11.08, p<0.01$		
励ます									
した	58.1	49.5	44.1	45.3	41.6	35.8	52.6	46.1	40.6
しない	41.9	50.5	55.9	54.7	58.4	64.2	47.4	53.9	59.4
χ^2 検定	$\chi^2=7.40, p<0.05$			N.S.			$\chi^2=9.49, p<0.01$		
話し合う									
した	34.9	72.6	70.4	19.7	67.9	62.0	28.5	70.6	66.9
しない	65.1	27.4	29.6	80.3	32.1	38.0	71.5	29.4	33.1
χ^2 検定	$\chi^2=68.86, p<0.0001$			$\chi^2=75.76, p<0.0001$			$\chi^2=142.02, p<0.0001$		
心配事を聞く									
した	58.6	61.3	60.8	46.0	62.8	56.2	53.3	61.9	58.8
しない	41.4	38.7	39.2	54.0	37.2	43.8	46.7	38.1	41.2
χ^2 検定	N.S.			$\chi^2=7.923, p<0.05$			N.S.		
相談・助言									
した	32.8	54.3	49.5	31.4	54.0	54.0	32.2	54.2	51.4
しない	67.2	45.7	50.5	68.6	46.0	46.0	67.8	45.8	48.6
χ^2 検定	$\chi^2=19.09, p<0.0001$			$\chi^2=18.80, p<0.0001$			$\chi^2=37.26, p<0.0001$		
愛情									
した	58.1	59.7	52.7	45.3	43.8	49.6	52.6	52.9	51.4
しない	41.9	40.3	47.3	54.7	56.2	50.4	47.4	47.1	48.6
χ^2 検定	N.S.			N.S.			N.S.		

第Ⅲ部 出産後18か月までの母親意識の変化とそれに影響する夫（父親）側の要因の初・経産婦別分析

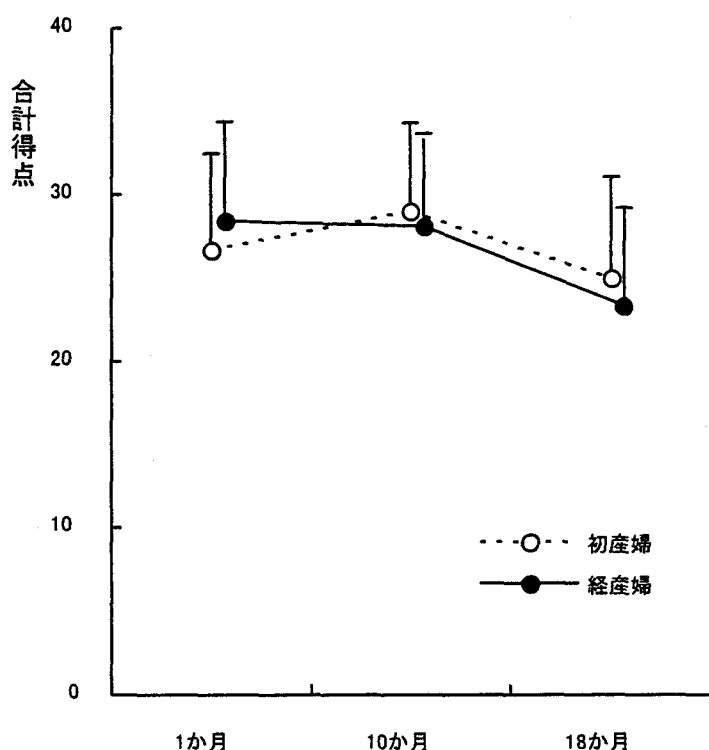


図Ⅲ-21 妻への精神的支援に関する質問項目への回答「した」の割合

第2項 妻への精神的支援の合計得点の出産後3期における変化

妻への精神的支援の合計得点の平均と標準偏差を、出産後3期と初・経産婦の夫別に示したのが、表Ⅲ-24と図Ⅲ-22である。

妻への精神的支援の合計得点についての2元配置の分散分析の結果、時期 ($F=28.19, df=2, 642, p<0.0001$) と交互作用 ($F=4.17, df=2, 642, p<0.05$) に有意な効果が認められた。精神的支援の合計得点は、初産婦の夫では、産後10か月が最も高く、ついで産後1か月、最も低いのは18か月であった。また経産婦の夫では、産後1か月および10か月が高く、18か月が最も低く、有意な差が認められた。また、初・経産別で比較すると、産後1か月では経産婦の夫の平均は初産婦の夫より有意に高く ($p<0.05$)、逆に、18か月では有意に低かった ($p<0.05$)。



図Ⅲ-22 妻への精神的支援の合計得点 (平均と標準偏差)

表Ⅲ-24 妻への精神的支援の合計得点の初・経産婦間の比較と二元配置分散分析の結果

	1か月 Mean (SD)	10か月 Mean (SD)	18か月 Mean (SD)	ANOVA		
				初・経産	時期	交互作用
初産婦	26.6(5.8)	28.9(5.3)	24.8(5.1)	N.S.	$F=28.19, df=2, 642,$ $p<0.0001$	$F=4.17, df=2, 642$ $p<0.05$
経産婦	28.3(6.0)	28.0(5.8)	23.2(9.9)			

N.S. : not significant

第10節 母親意識に影響を与える要因

出産後1か月、10か月、18か月の母親意識の合計得点を目的変数に、母親意識に影響する要因毎の合計得点、父親意識の合計得点および父親の支援行動毎の合計得点をそれぞれ説明変数とする重回帰分析の結果を、表Ⅲ-25に示した。

初産婦では、母親意識の高いことと母親自身の要因との間で正の相関が認められたのは、非抑鬱が高いこと（抑鬱が低い）（3期とも）、自己価値観が高いこと（3期とも）、夫婦関係の親密度が高いこと（1か月、18か月）、負の相関が認められたのは性別役割分業観（10か月）であった。

母親意識の高いことと、父親側の要因との間で正の相関が認められたのは、父親意識が高いこと（1か月、18か月）、負の相関が認められたのは、父親の育児（10か月）であった。

また、父親の家事および妻への精神的支援との間では、有意な相関関係が認められなかった。

経産婦については、母親意識の高いことと母親自身の要因との間で正の相関が認められたのは、非抑鬱が高いこと（抑鬱が低い）（3期とも）、夫婦関係の親密度が高いこと（3期とも）、また、負の相関が認められたのは、性別役割分業観が非伝統的なこと（1か月）であった。

母親意識の高いことと、父親側の要因と間で正の相関が認められたのは、父親意識が高いこと（10か月、18か月）であった。

また、父親の家事、妻への精神的支援との間では、有意な相関関係が認められなかった。

第Ⅲ部 出産後18か月までの母親意識の変化とそれに影響する夫（父親）側の要因の初・経産婦別分析

表Ⅲ-25 母親意識の合計得点に対する各要因の合計得点による重回帰分析の結果

標準偏回帰係数および有意水準

各要因	初産婦(N=186)			経産婦(N=137)		
	出産後1か月	10か月	18か月	出産後1か月	10か月	18か月
非抑鬱	0.437 p<0.001	0.451 p<0.001	0.398 p<0.001	0.537 p<0.001	0.405 p<0.001	0.609 p<0.001
自己価値観	0.137 p<0.05	0.358 p<0.001	0.282 p<0.001	0.113 N.S.	0.147 N.S.	-0.052 N.S.
夫婦関係	0.336 p<0.001	0.056 N.S.	0.267 p<0.001	0.181 p<0.05	0.214 p<0.01	0.237 p<0.01
性別役割分業観	-0.031 N.S.	-0.156 p<0.01	-0.040 N.S.	-0.170 p<0.05	0.044 N.S.	-0.037 N.S.
父親意識	0.191 p<0.001	0.088 N.S.	0.165 p<0.01	0.052 N.S.	0.152 p<0.05	0.167 p<0.05
父親の育児	-0.026 N.S.	-0.145 p<0.01	-0.067 N.S.	0.076 N.S.	-0.137 N.S.	-0.114 N.S.
父親の家事	0.040 N.S.	0.069 N.S.	-0.199 N.S.	0.094 N.S.	-0.010 N.S.	0.029 N.S.
妻への精神的支援	-0.014 N.S.	0.049 N.S.	0.050 N.S.	0.015 N.S.	-0.090 N.S.	0.029 N.S.
	R ² =0.717	R ² =0.752	R ² =0.739	R ² =0.670	R ² =0.614	R ² =0.725

N.S. : not significant